HXEROS
ド級編隊
エグゼロス
きただりょうま
12
JUMP COMICS SQ.

ド級編隊エグゼロス

H×EROS

きただりょうま

12

JUMP COMICS SQ.

HXEROS Characters

H×EROS　EROSをHネルギーに変え、キセイ蟲と戦うヒーローチーム。

HXEWHITE

白雪舞姫

エグゼホワイト

ドジで特技がない事を気にしているが、内に秘めたEROSは人一倍。

HXEPINK

桃園百花

エグゼピンク

姉への対抗心から、ヒーローへの誘いを受けた。烈人の雲母への気持ちに気付く。

HXEYELLOW

星乃雲母

エグゼイエロー

幼い頃のトラウマで、エロに拒否反応を示す。烈人に小学生の時の告白の返事をすると約束した。

HXERED

炎城烈人

エグゼレッド

幼馴染の雲母を変えてしまったキセイ蟲が許せなくて、ヒーローになる。雲母の事が好き。

Story

地球はキセイ蟲による侵略を受け、かつてない危機に瀕していた。しかし、そんな敵と日夜戦い続ける少年少女の姿があった。彼らの名はH×EROS――。一度は撃退したキセイ姫が、転校生として烈人たちの学校へやって来た!? 彼女は繁殖期前のHネルギーを補給するために、烈人を誘惑し始める。そんな中、Hネルギーを鍛えるためのサイタマ支部、トーキョー支部合同の合宿が行われる。合宿期間中に一番高い結合Hネルギーを記録したペアが、対キセイ姫の主戦力となる事が決まり、烈人と雲母は最高値を叩き出し、作戦に臨む事となった!

庵野 丈

地球防衛隊サイタマ支部HERO課、課長。烈人の叔父。

チャチャ

キセイ蟲の王女。Hネルギーを高める体質のため、仲間から疎外されていた。

女王キセイ蟲

キセイ蟲を統べる女王。烈人と雲母がHネルギーを提供する事を条件に停戦を申し出る。

キセイ姫

キセイ蟲第一王女。繁殖用に烈人のHネルギーを狙う。

HXEBLUE

天空寺 宙

エグゼブルー

Hな漫画を描くのが趣味。XEROスーツのデザインを担当した。

contents

第52話 本当の雲母

ドォンッ

ドドンッ

ドッ

ヒュンッ

大丈夫か星乃…？
ええ
来たぞっ

結合Hネルギー解放──
ボッ

!?
やっぱり
Hネルギーが効いていない…!?

じゃあね
楽しかったよ

戦闘不能

また駄目だったか…

カチャ

星乃がもっと
Hネルギー
出さないと
バランスが
取れないだろ！

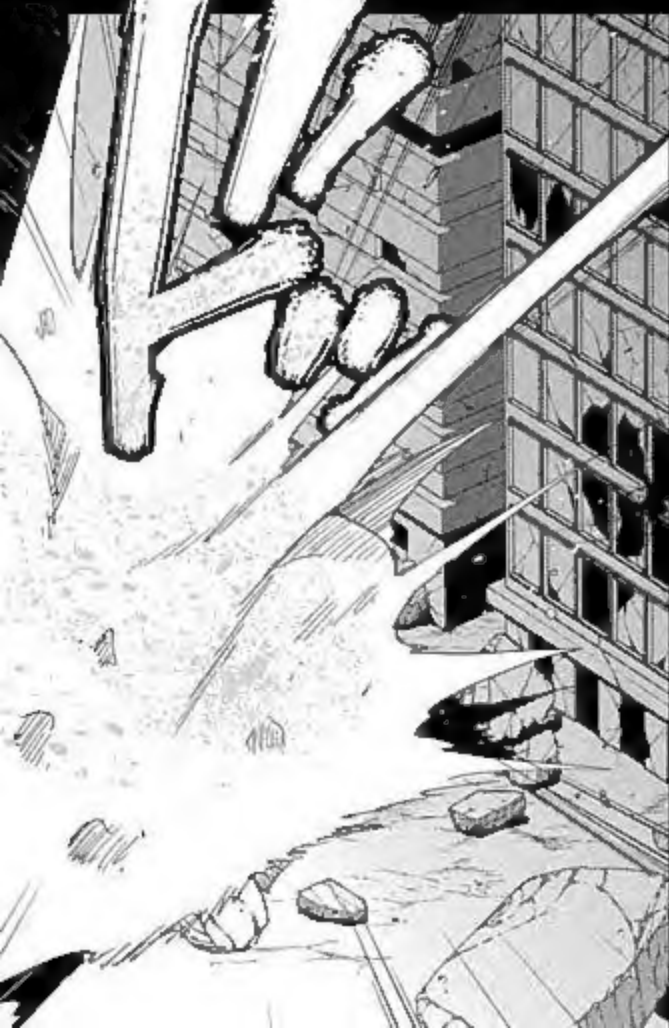
わかってる
わよ…

わかってるけど
溜まってない
物は仕方ない
じゃない…！

どこ行くんだ？

用は済んだし帰るのよ

一週間前——
ただいまー
ぼふっ
はー
やっと合宿
終わったー
これで久々に
一人でゆっくり
出来る…
合宿試験突破
おめでとーっ！
そういえば
いくら一人でも
コレが居るん
だった…

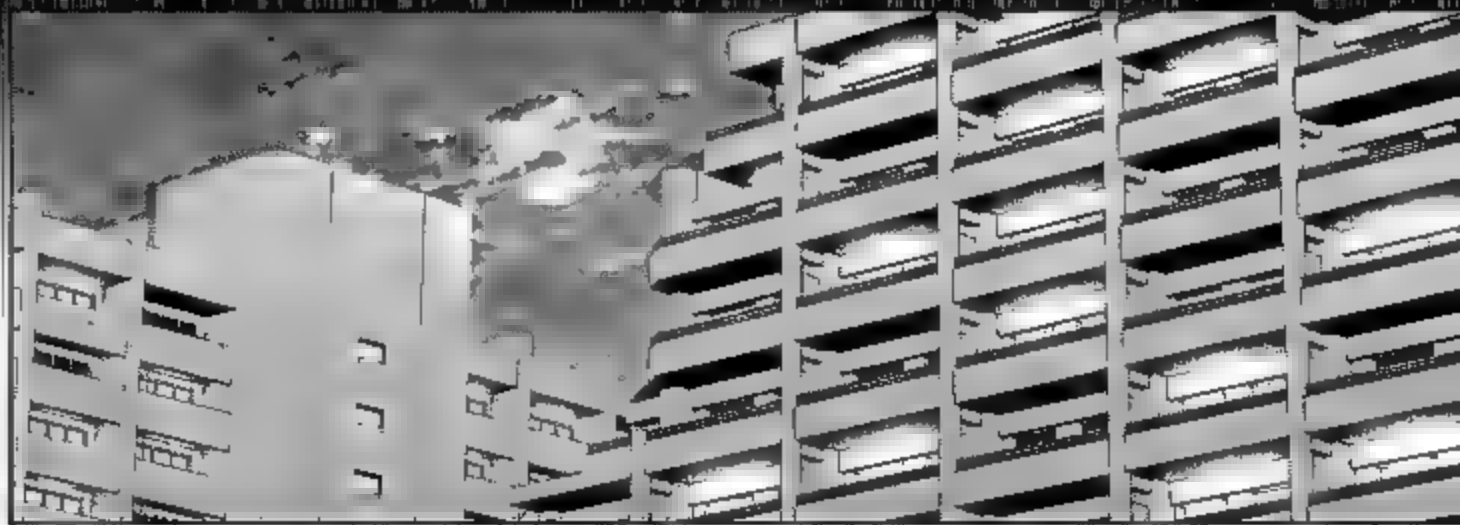
でも喜んでるとこ悪いけど…果たして本当にあなたが一番だったのかな？
！
どういう意味よ…？
あの合宿の中でまだれっくんとHネルギーの測定してない人が居たんじゃない？
それってもしかして…
そ 私
私と戦ってもないのに勝ったと言えるのかなー？

じゃあ聞くけど もし私とだったら 合宿の結果は もっと 良かったと思わない？

それは…

……でも確かに、 黒雲母の方が こういうこと 得意そうだし…

ず〜ん

はーっ

また星乃と揉めちまった…

なんで俺は星乃に対してもっとこう素直に出来ないんだ…

いや…前から決めてたはずだろ…

星乃とのHネルギーが一番だったら星乃に告白するって…

それに…

ちょうど来週はクリスマスなんだから

おっす星乃
……おはよ…
最近朝は冷えるよなー
そっそうね…

すーーーん

こ…これは思ってたより深刻かもしれないな…

これはもう最終手段に移るしかない…

朝名さん

どうしたの炎城くん？
雲母なら日直で居ないけど
いや今日は朝名さんに話があるんだ
！
炎城と夕奈…？なんか珍しいわね
朝名さんってさクリスマスに予定あったりする？

ヨロヨロッ…
嘘…まさかそんなことって…

!?

はっ

あのね 炎城くん…その言い方だと私を誘ってるように聞こえちゃうよ?
いや…別にそういう訳じゃ…

わかってるって
要は私たちと雲母で予定があるかが聞きたいんでしょ?
ギクリ

それなら大丈夫
私は先輩と予定が入ってるし
雲母も多分用はないんじゃない？
ほ

それにしてもやっとって感じだね炎城くんも
なんだよやっとって…？

気付かないとでも思ってたの？
雲母に対する気持ち

よければ私が予定聞いとこうか？
いや…それくらいは自分で…

そっか
でも頑張ってね炎城くん

あ
おかえり
お兄ちゃん

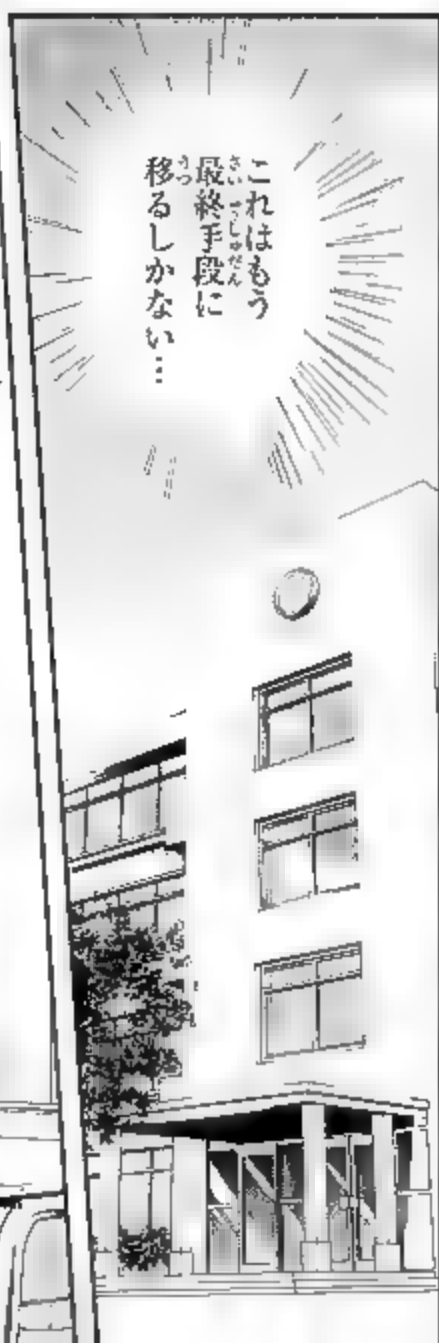
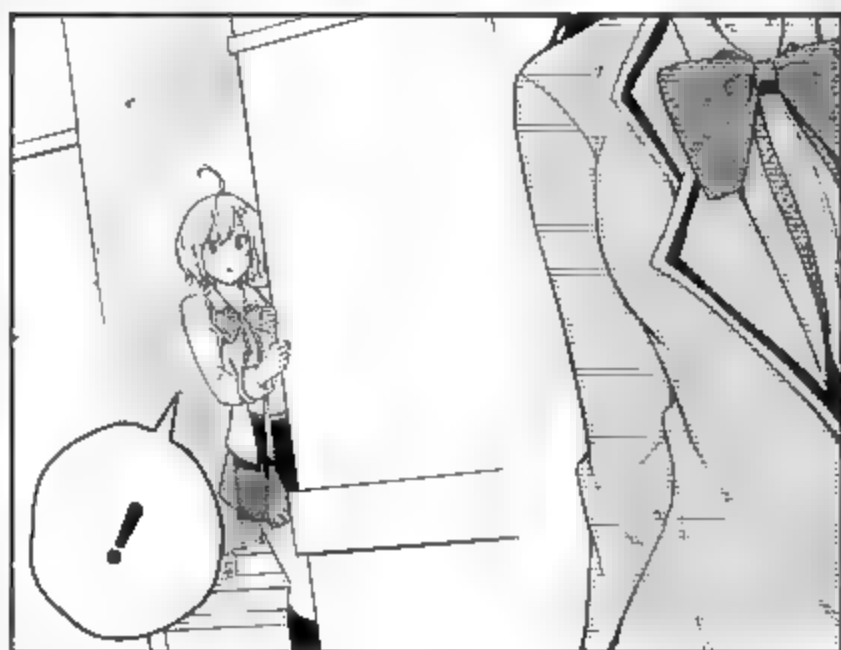
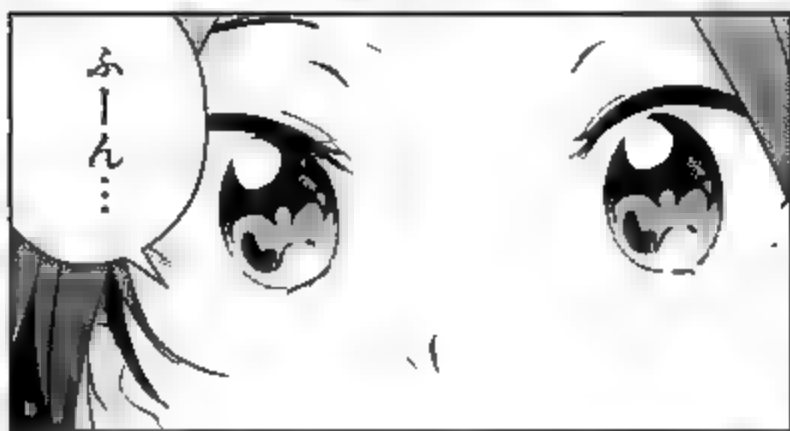
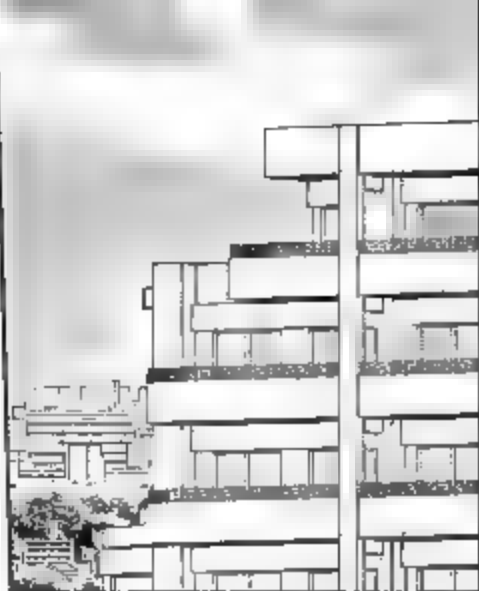
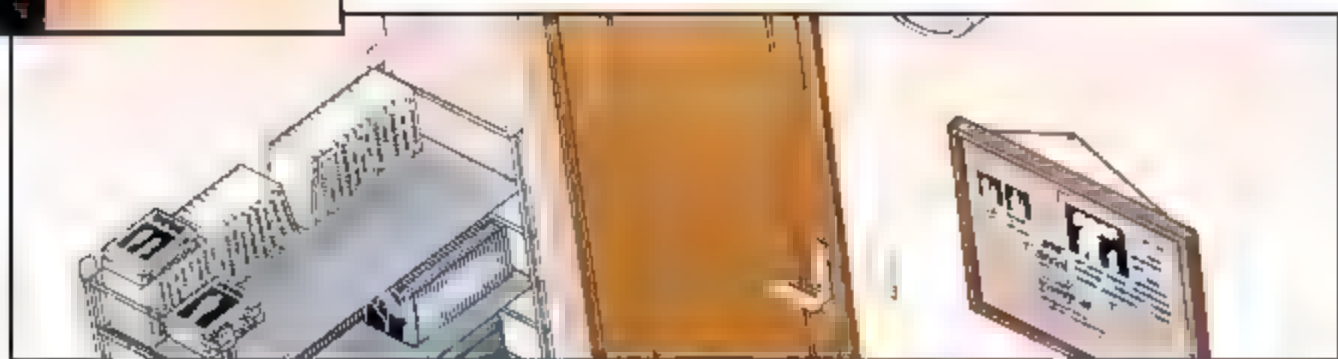
どうしたの？
ため息なんて
吐いちゃって

なんだって
いいだろ…

最近 なんか
ちょっと
気まずくてな…

なんていうか
避けられてる
っていうか

でもお兄ちゃん 昔は
もっと雲母ちゃんと
仲良かったよね？

まぁ…
あれが仲が良いと
言えるか
わからないけど…

でも結局どっちが好きなの？
今の雲母ちゃんと
昔の雲母ちゃん
どっちが好きかなんて
そんなの考えたこともなかったな…

明日 絶対星乃にクリスマスの予定を聞く…

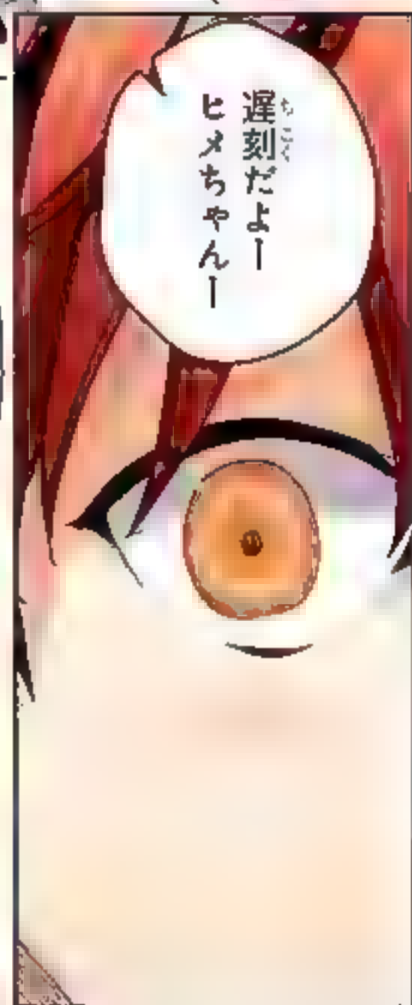
出来なければ俺は一生このままだ…！

翌日——

ドキ
ドキ

おはよー

遅刻だよー ヒメちゃんー

いやー 繁殖期だから 食欲が収まらなくって休んじゃった

!?

なんでキセイ姫が
学校に また
来てるんだ…!?
それに白昼堂々
現れるなんて…
あー
ヒメチャン
心配したよー
ごめんねー
何か考えが
あるのか…?
だがもう
逃す訳には
いかない…!
ガタ
ヒメさん

ちょっといいか？

えー何何？もしかしたら告白ー？

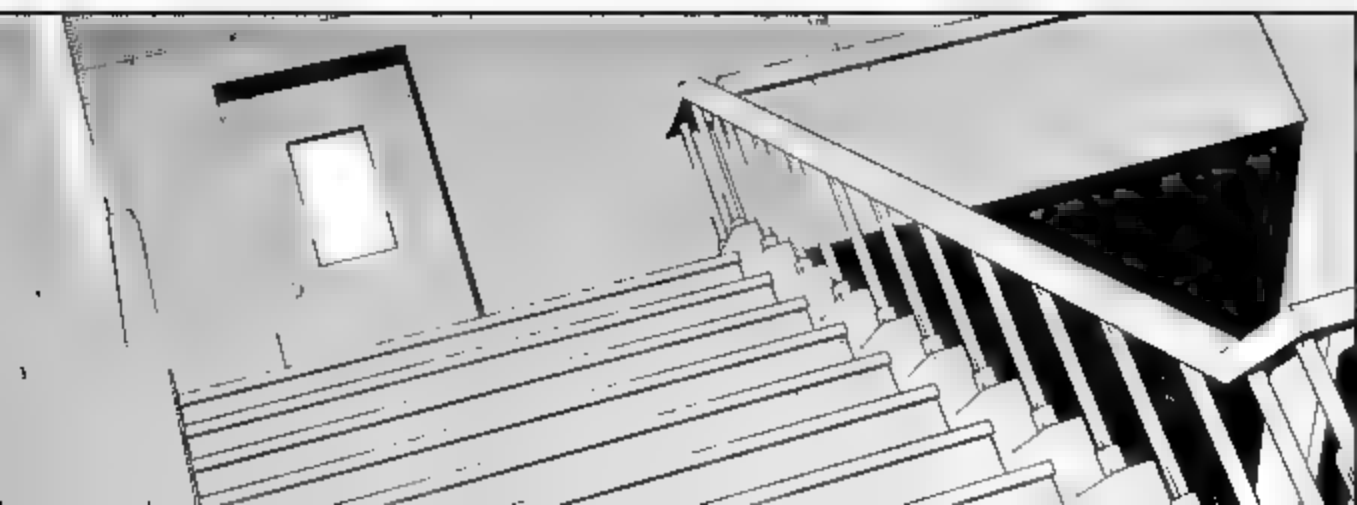
いいからちょっと来い…！

ザワザワ

行くぞ星乃…

……

チラッ

コクッ

良くここに来れたなキセイ姫…
言ったでしょ？
姫は極上のHネルギーを求めてるって
さあチャンスよ…
さあ姫にあなた達二人の結合Hネルギーとやらを食らわせなさい

舐めやがって…！

星乃…訓練では上手くいかなかったけど今がチャンスだ

一か八かやるぞ！

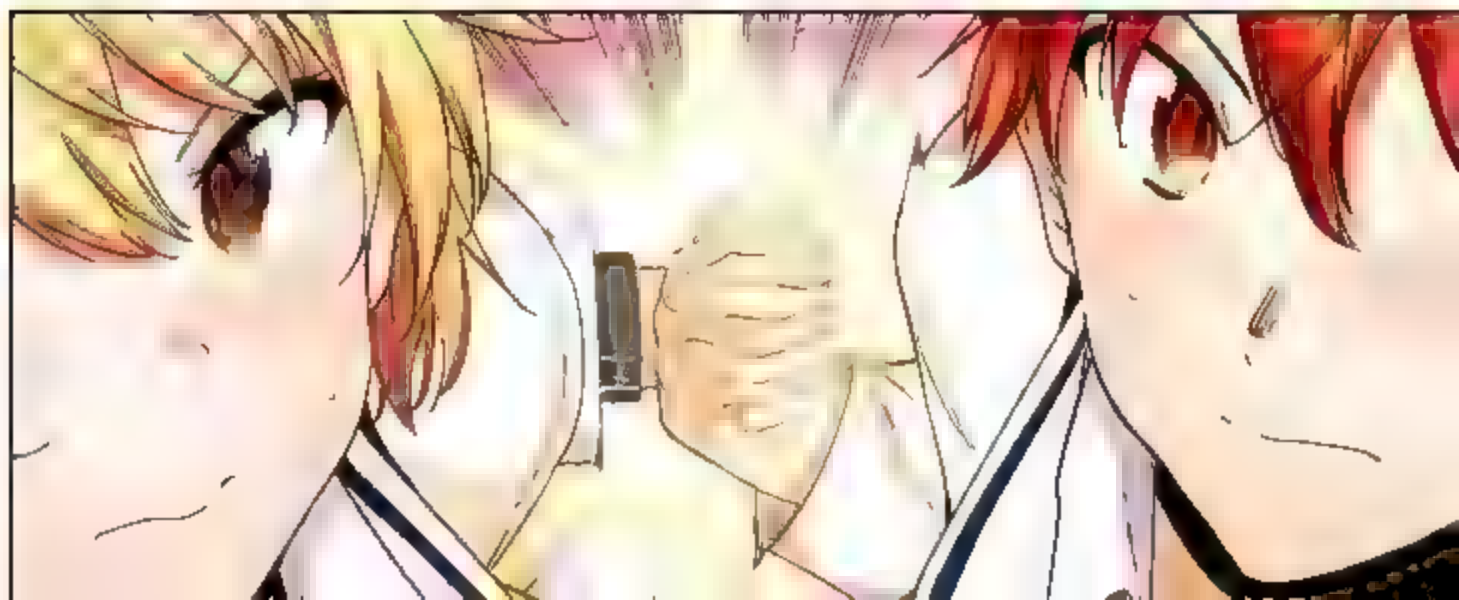
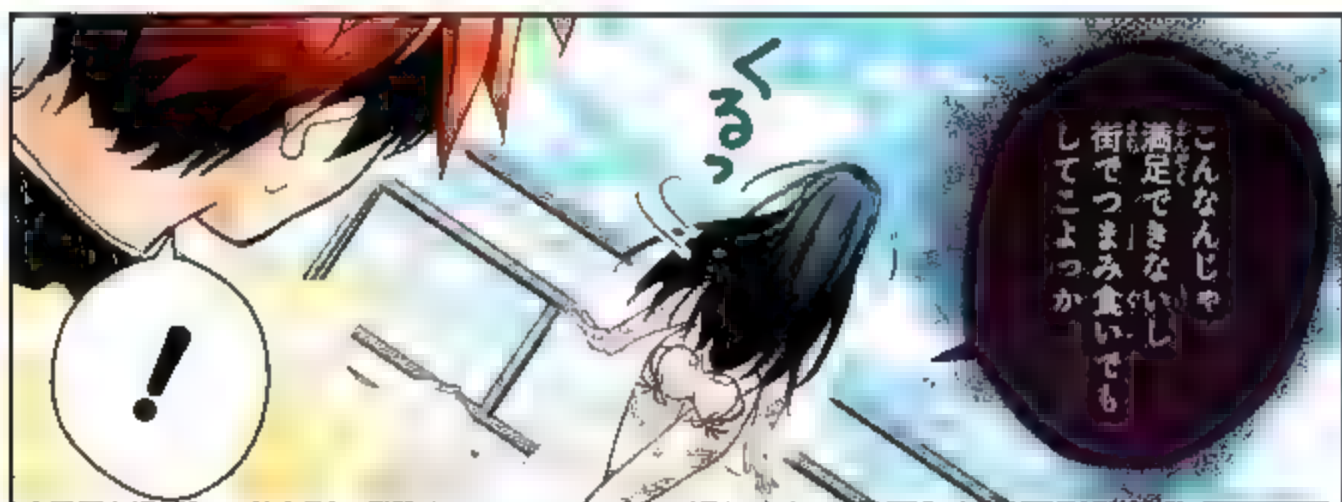
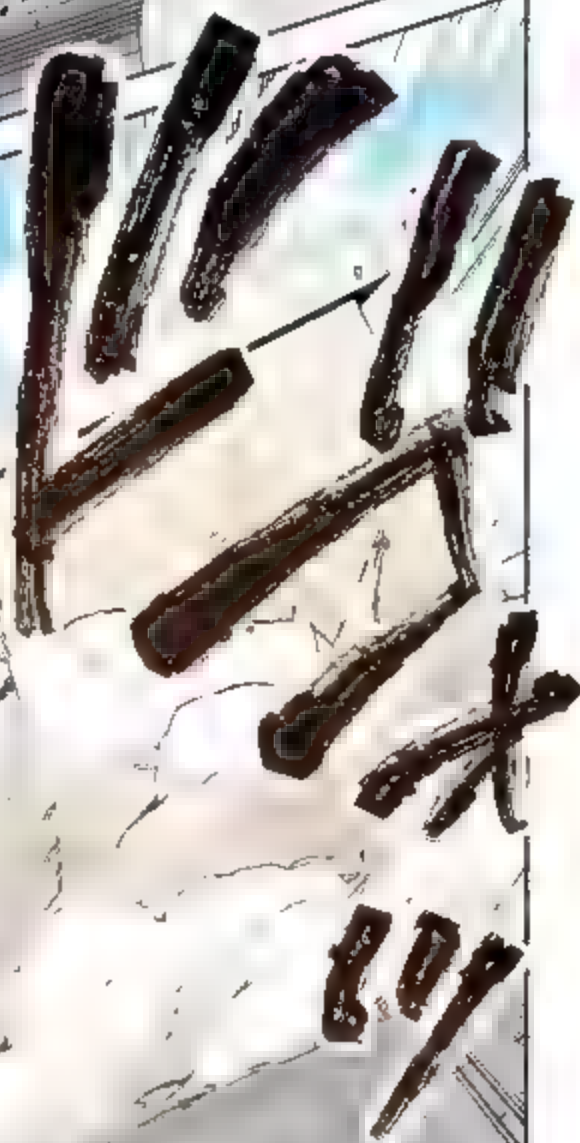
ギュッ

ド!!!
……何それ……?
オオオオ

しょぼい
Hネルギーなんて
食べ飽きてる
ってのに

姫の見込み
違いだった
かな？

そんなんで
姫を止められるとでも？
ドドドッ
……ま……
待て……
どさっ

ごめん…私の所為でキセイ姫を逃しちゃって…
星乃の所為なんかじゃねーよ…
俺が一人でもあいつを倒せるくらい強かったら…
………
そのことなんだけど

私…やっぱり炎城とのコンビは無理かもしれない…
!
どうして…計測でも一番相性が良いって…
でも…今の気持ちのままじゃ絶対に勝てないと思うから…
ギュッ

わかった…
星乃がそこまで言うなら…
でも最後に理由だけ教えてくれ
そうじゃないと納得できない…！
それは…
言えないってことはやっぱり俺の所為なのか？
それは…違う…
じゃあなんで…
だって他にもまだまだ測定してない人だらけじゃない…
私がベストだなんて決まった訳じゃないんだし…
ばっ

もし他にもっと適任な人が居たら…！

……そんなの関係ない

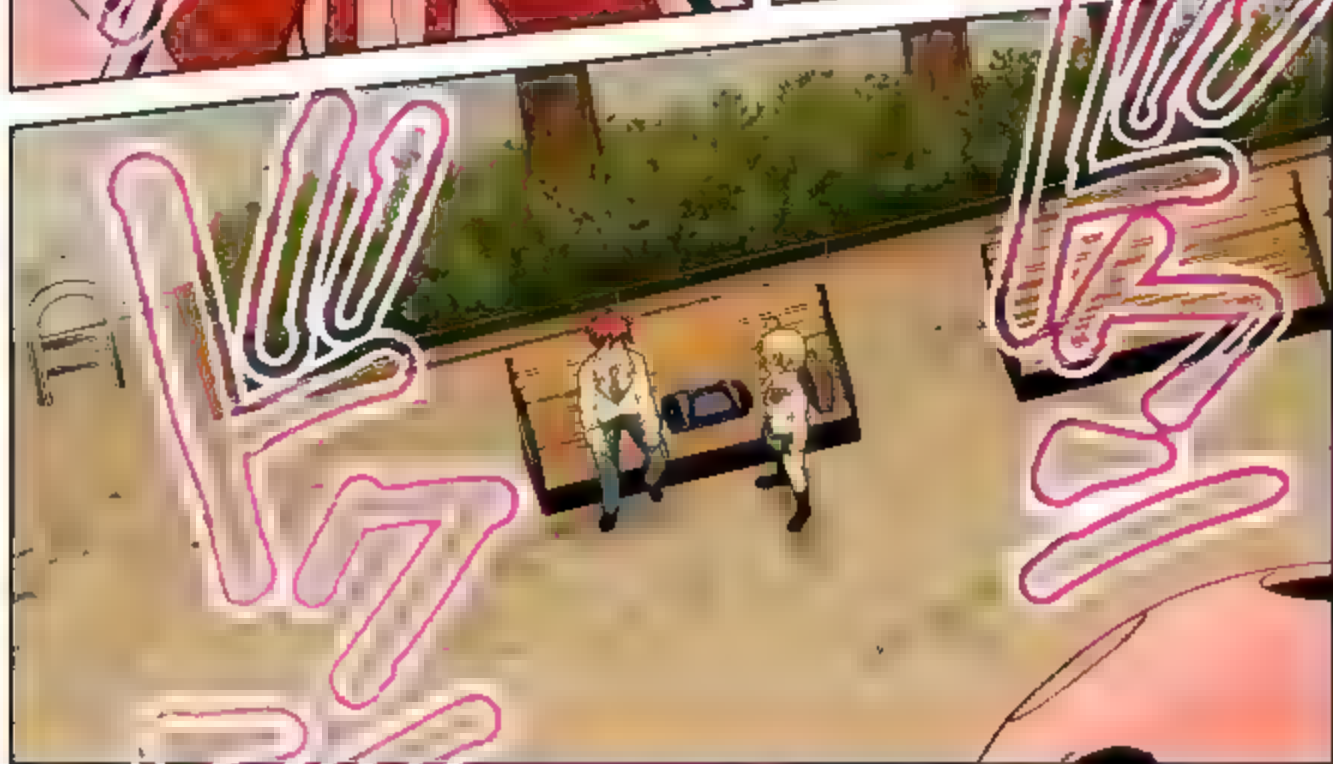
それでも俺は星乃と組みたいんだ…

なんで…

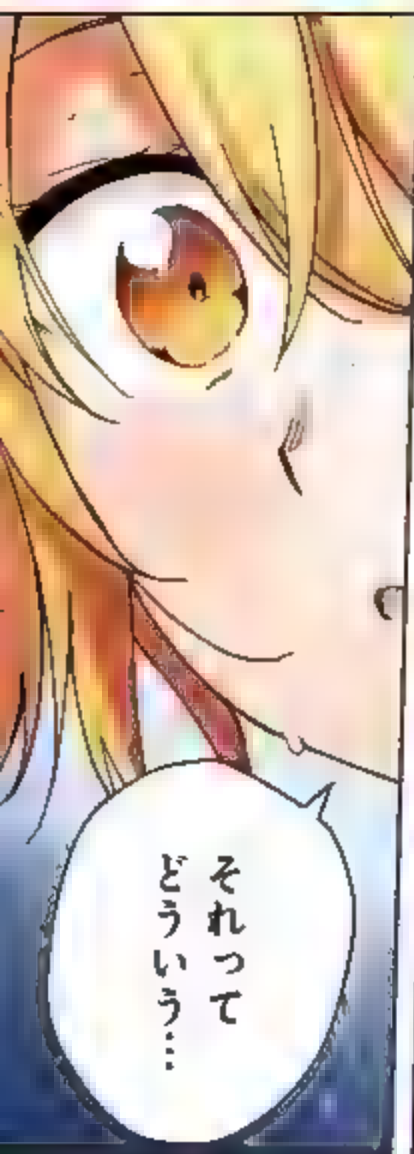
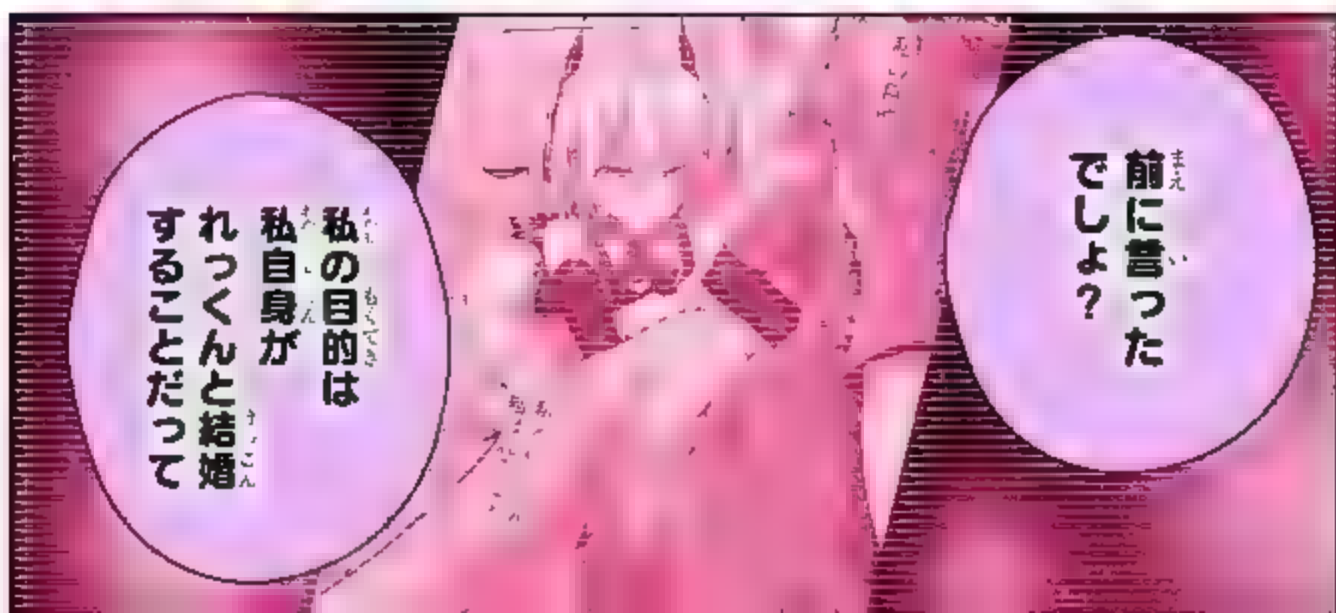
なんでそんなこと言うのよ…!?

えっ

ドクンッ
ドクンッ
ドクンッ
ドクンッ
わ…私…

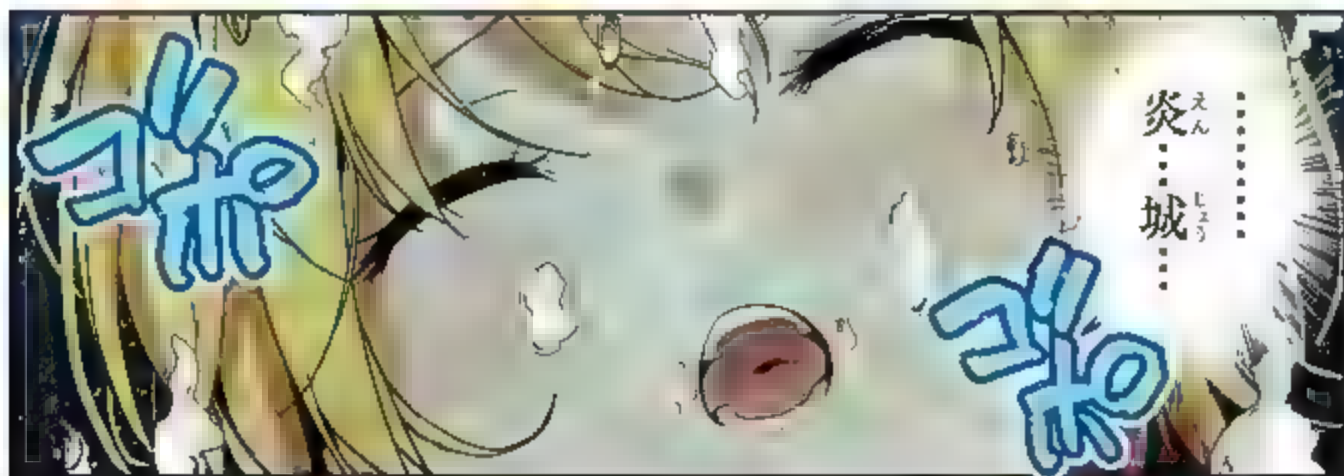
今汗すごくない？
どくどく
確かに!!
ちょっと私一旦帰ってシャワー浴びて来るっ!!
ええっ!?どんなタイミング!?
だっ
マジ…？

どうしよう
どうしようっ…
まさか
こんな日が
来るなんて…
でも
すっごい
嬉しい

あああ〜〜〜っ!!
言っちまった〜〜〜!!!

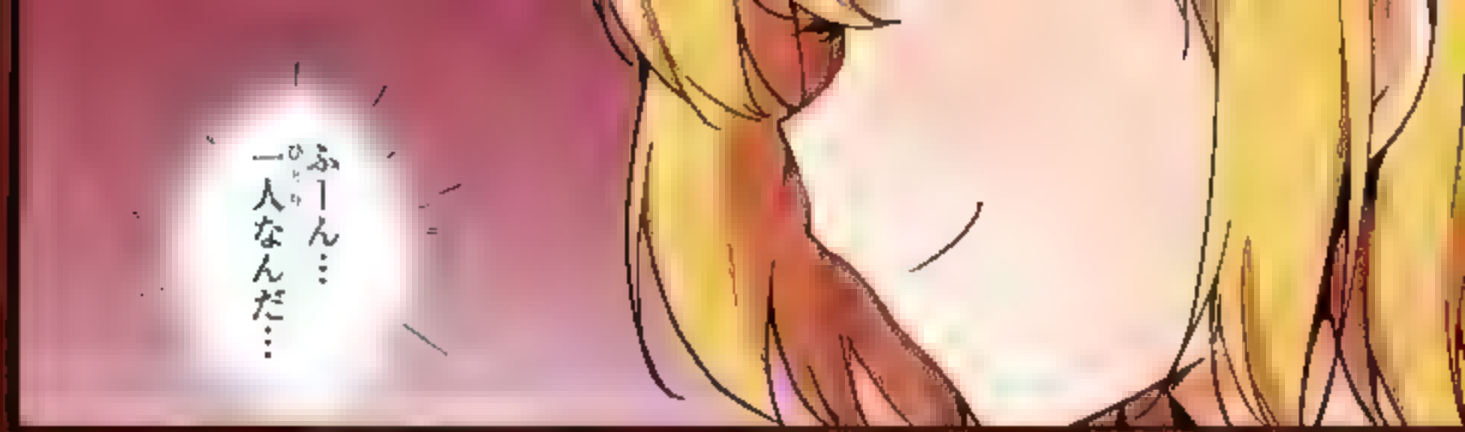
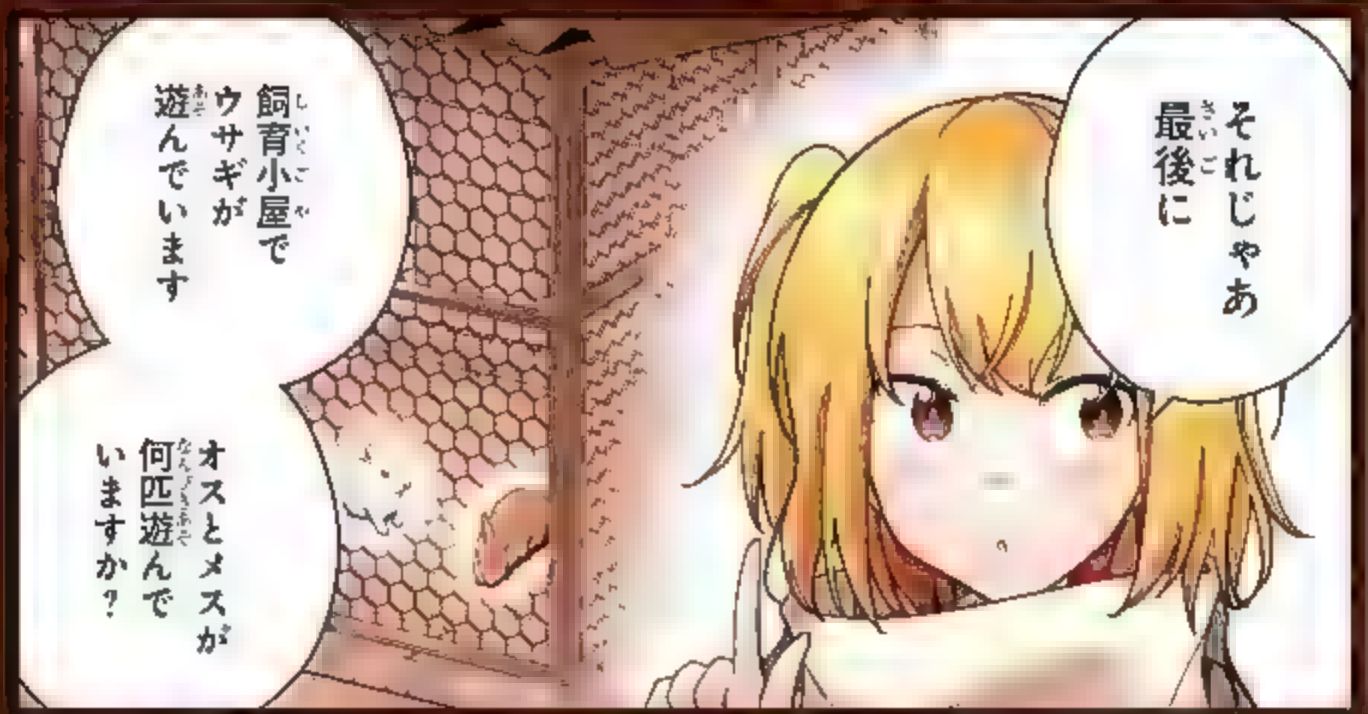
ただいまっ
ふふっ…
これでわかったわよね黒雲母…
残念ながら私の勝ちよ…

って あれ…
居ないの…？
居るわよ
ちゃんと
というより
遅いのよ
これで
心おきなく
返して
もらえるわ
それって
どういう…
前に言った
でしょ？
私の目的は
私自身が
れっくんと結婚
することだって

ドボーンッ

Extra Gallery

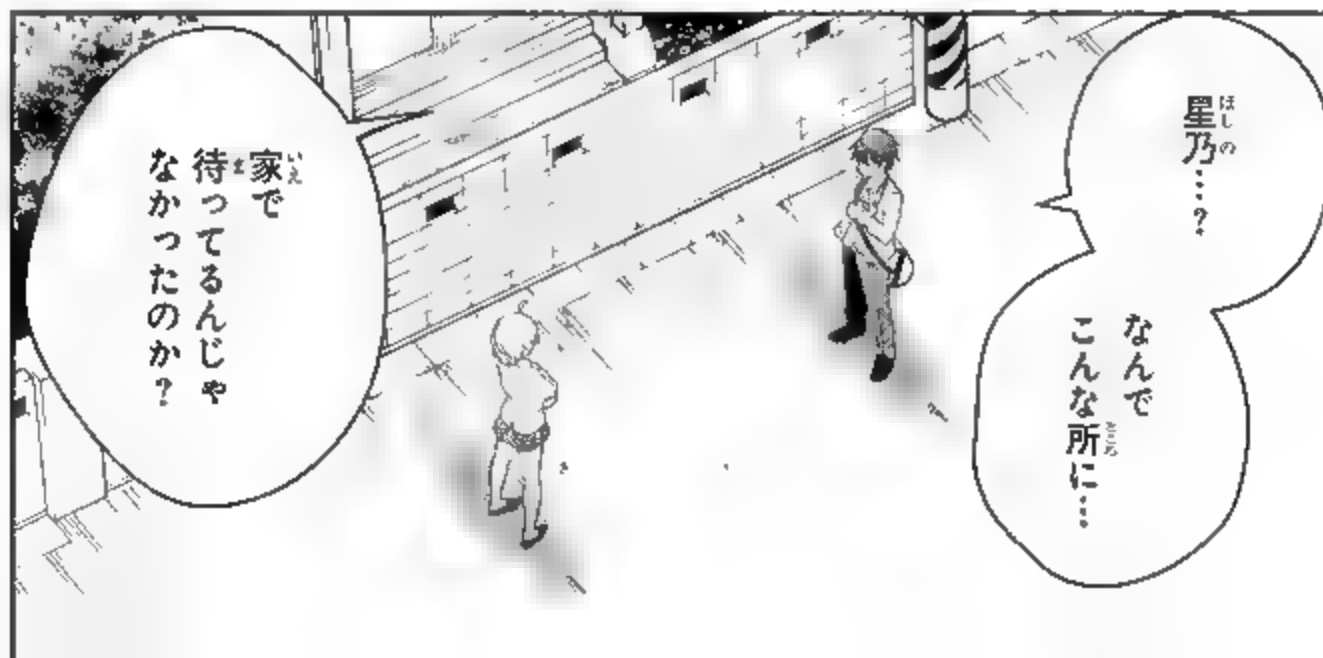
番外ギャラリー

HXEROS

第53話
しんしん
ねえ れっくん
あなたの好きな人が蚊に刺されてたとしたらさ
どこを刺されていたと思う?
なんだよ急に…
心理テスト 昨日雑誌で読んだんだー
へー…

うーん
それじゃあ…
やっぱり
首筋とか？
へー
そんな所
なんだー
で…これが
何なんだよ？
その場所は自分が
キスしたいと
思っている
部分だって
ズッ
全く 首筋なんて
エロエロだなー
れっくんは
それは
こんな問題出す
お前の方だろ!?

それじゃあ第2問
あなたは信号待ちをしています
歩道の向こうで待っている人の数は？
一人…かな
ドキッ
それがあなたの将来付き合う人の人数です
エロエロの癖に一途なんだね
うっ…うるせーよ…！

ふーん…一人なんだ…
それじゃあ最後に
飼育小屋でウサギが遊んでいます
オスとメスが何匹遊んでいますか？
10匹くらい？
ウサギ…

それで…今度は何の数なんだ？
……これは あなたが欲しいと思う こ…子供の数です
そんなに欲しいなんて…
やっぱエロエロなんだから…
？ なんで子供を多く作るとエロエロなんだ？
あーもう子供なんだからっ！
えっ？どういうこと!?

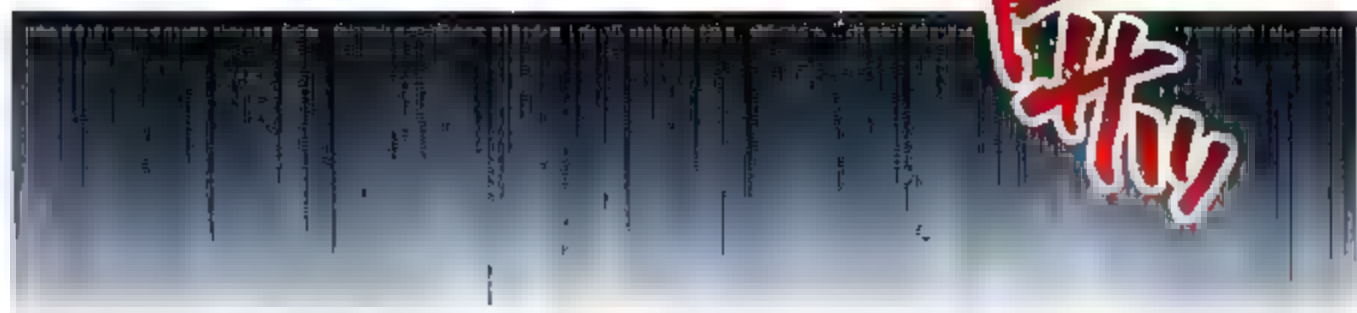
第53話
雲母VS黒雲母
星乃…？
なんでこんな所に…
家で待ってるんじゃなかったのか？

!
ぎゅっ
それじゃあ早く行こ？
行くってどこに…
うん…でもなんだか居ても立っても居られなくて…

それは着いてからのお楽しみ

なんなんだこの状況は…

ラブホテル――!?

星乃じゃ…
…ない…？
じわり
くっ…
ぎしっ
ぐううっ

ちょっと これ
なんの真似よ
黒雲母!?

解きなさいっ!

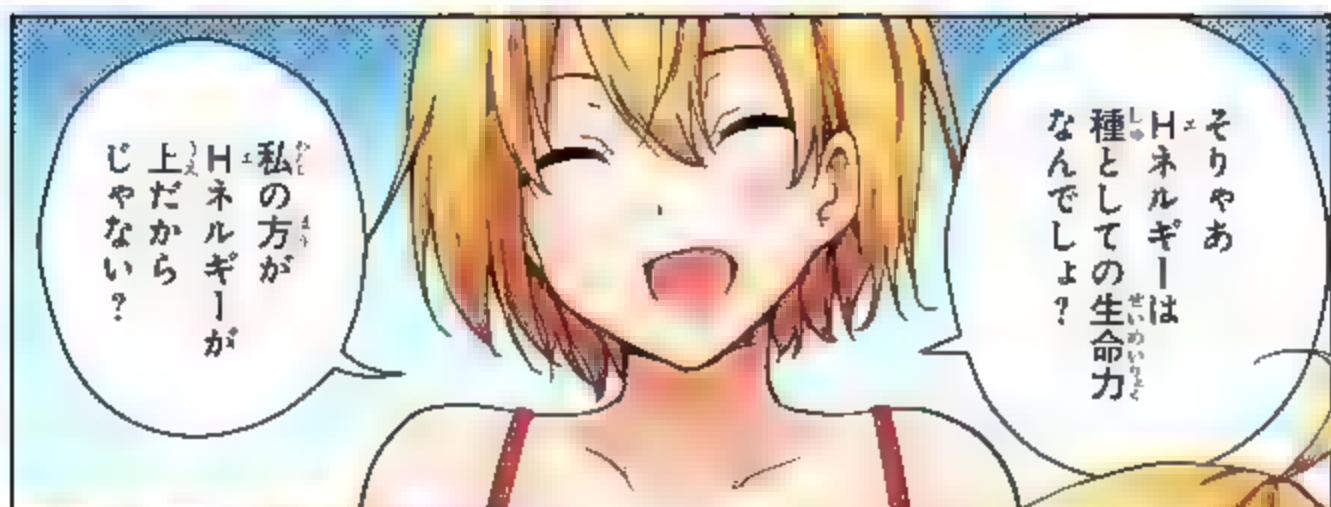
んー
久々の外は
やっぱり気持ち
いいわねー

ダメ…
びくとも
しない…

感謝は
してるわ…

お陰で
れっくんと
結ばれるん
だから

っ…

なんでアンタに身体を乗っ取られなきゃいけないのよ…！

そりゃあHネルギーは種としての生命力なんでしょ？

私の方がHネルギーが上だからじゃない？

!?

つまり私 黒雲母の方が雲母より生命力が強いってこと

私としてはいつでも乗っ取れたけど
れっくんに告白されたこのタイミングは逃す訳にはいかないからね
はたして本当にそうかしらね…？
……
何か言った？
いつでも乗っ取れたならさっさと自分から告白すればよかったのに…
なんでそうしなかったのかしら…？

そっ…そんなリスク私が冒す必要ないでしょ!?

ギクッ

そんなこと言って結局 自分で告白する勇気が無かっただけじゃない

なんだかんだ言ってアンタも結局 私と同じの癖に偉そうにしないでよ

結局 その声は私にしか聞こえないんだから

ぐっ…

こんなことになるんだったら…
恥ずかしがらずにもっとHネルギーを鍛えておくべきだった…

いや 駄目よ諦めたら…

炎城に返事を伝えるまでは絶対に諦めたりなんかしない…!

考えるのよ…どうすれば今からでも黒雲母よりも強いHネルギーを溜められるのかを…

それにしても れっくん 遅いわね…
こっちは もう準備万端 なのに…
その服 ちょっと露出 多過ぎじゃ ない…？
そう？ これくらい 普通じゃない？
全く まだ子供 なんだから…
でも確かに 遅いわね 炎城の奴…

ああ 烈人は今日まだ見てないな
先生にも何の連絡もないみたいだし
星乃なら知ってると思ったけど一体何してるんだアイツは…
そっか…

でも教えてくれてありがとね

鳥越伊達

ドキッ

なんか今日の星乃雰囲気違うな…

ああ…なんか俺 ドキッとしちゃったよ

ドキ ドキ

おい男子

キーンコーンカーンコーン

ちょっと黒雲母…アンタ炎城のこと心配じゃないの…!?
心配に決まってるでしょ…!
だから今からサイタマ支部に行こうとしてるんじゃない
!

ジ〜ッ

！
これって…

…？

れっくんが
キセイ姫に
捕まったって
ホント!?

ばんっ

！

今雲母れっくんって…

雲母ちゃんもそんな所あるなんて意外…

別に良いじゃないですか

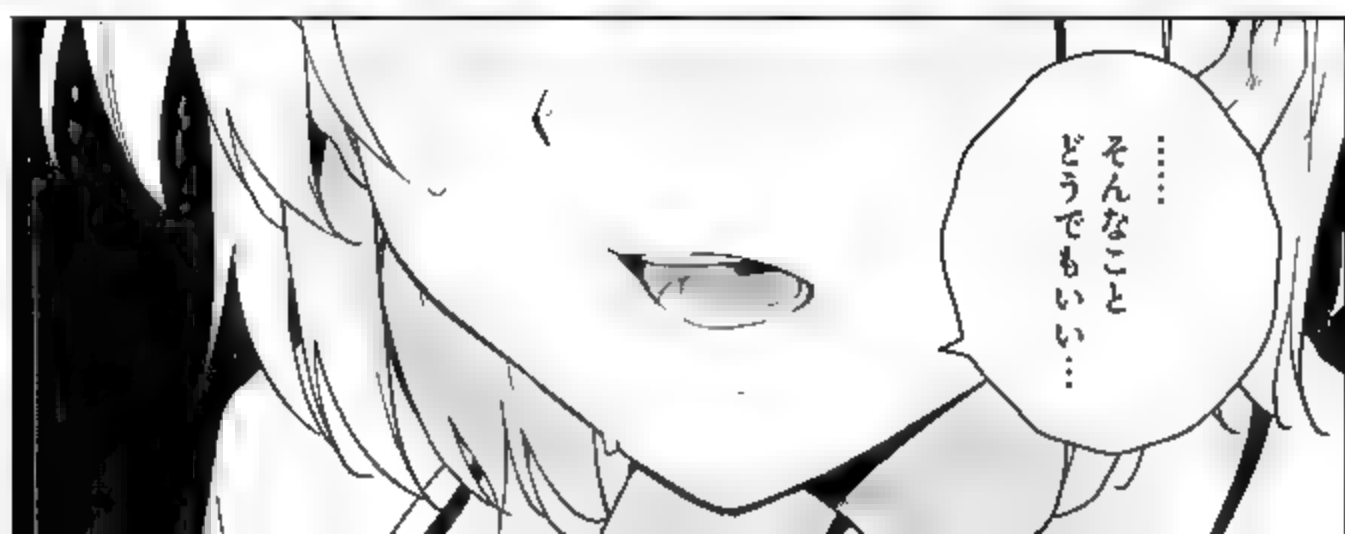
それだけ炎城さんが心配ってことなんですから

それでれっくんは無事なのおじさん!?

……

それが局員の調べによると

どうやら昨日の夜雲母くんと一緒にホテル街に消えていく所を目撃されているらしい

へ?

雲母…まさか自分…

いやいや私じゃないからっ!

見つけた所で あなた達に 私の娘が倒せる のかしら？
そうね…
でもそれが わかってるなら 早く探し出して キセイ姫を 倒さないと…！
女王キセイ蟲…!?

あなた達
エグゼロスを
見込んで姫の
対処を任せた
っていうのに
あの一番期待していた
雄を拉致されるなんて
期待はずれだった
みたいね
いっそのこと
この私が説得に
行きましょうか？
母上…
この私が
弱いって？
聞き捨て
ならないわね

その通りよ
今のあなた達のHネルギーなんかじゃ姫の食欲に遠く及ばないわ
それじゃあ試してみる？
表に出なさい
なんだか今日の雲母ちゃん変じゃない？
そうですね…

はぁ
はぁっ

なんで…!?

私の方が雲母より
Hネルギーが
強いはずなのに…

はーっ…

あの時とは
まるで別人ね

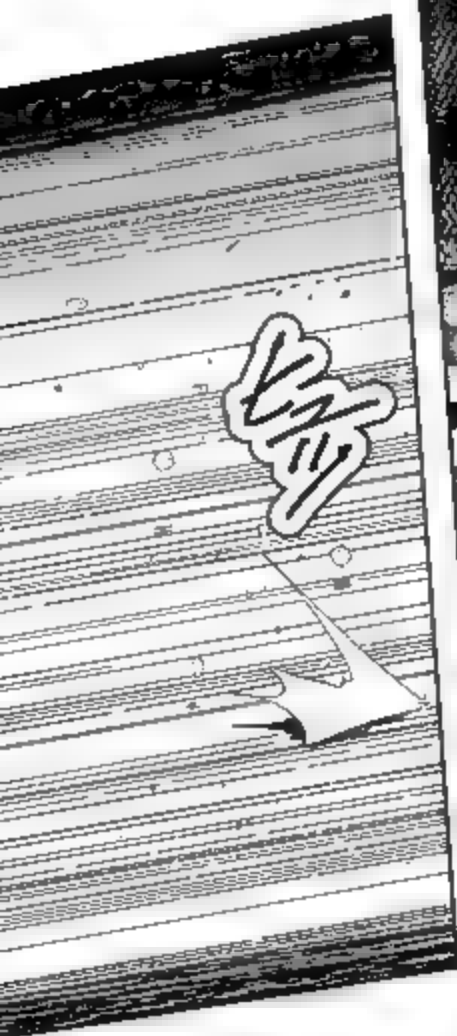
前は素質は
あるのに
それを活かせて
なかったけど

今の貴方は
まるで真逆

素質に自惚れて
恥じらいってものが
感じられないわ

ちょっと待てや！
！
さっきから聞いてればウチのエースを好き勝手言いやがって
女王キセイ蟲がナンボのモンなんや！
そうですよ…！星乃さんは炎城さえ居れば もっともっと強いんです！
コクコク

そんな戯言
信じられると
思うのかしら？

それじゃあ
ウチらが勝てたら
その言葉 撤回
してもらうで？

面白い……

どうやら貴方達には
〝理解らせ〟が
必要みたいね

はああ〜っ！

ちょっと君たちッ…
もう少し穏便に…

ボクだって!
ガッ
べしっ
のだ〜っ!
まだまだ…
ぐっ
皆…

私…どうすれば…

黒雲母…今こそ二人の力を合わせて女王キセイ蟲をやっつけるわよ！

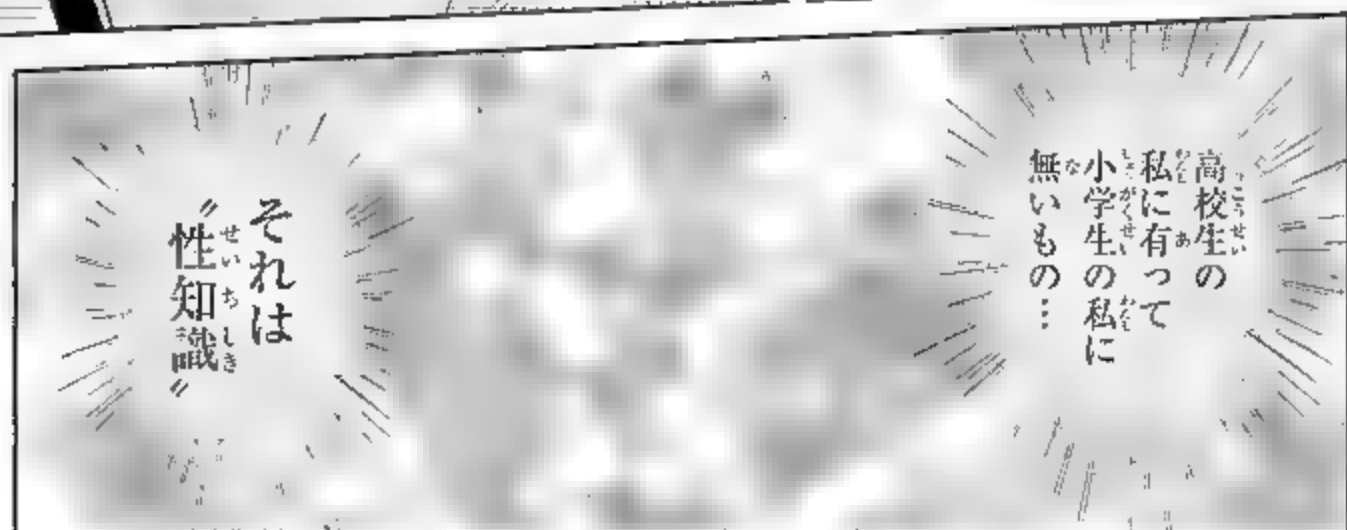
そんなこと言って…結局は貴方が主導権を取り戻したいだけでしょ？

その手には乗らないわ…

く…
やっぱり一筋縄じゃ
応じないわね…

こうなったら
やっぱりアレしかない…！

ぐぐッ

ブチッ

だから…
ん…
ゾクゾク
コレの意味もわからないはず…
ドクンッ
後は想像するだけ…

思い出すのよ…
今までの経験…そして——
くにっ

その先の
妄想を…

!?

何これ…
雲母の仕業…？

!

!

ぷはっ

な…何のつもりよ雲母…!?

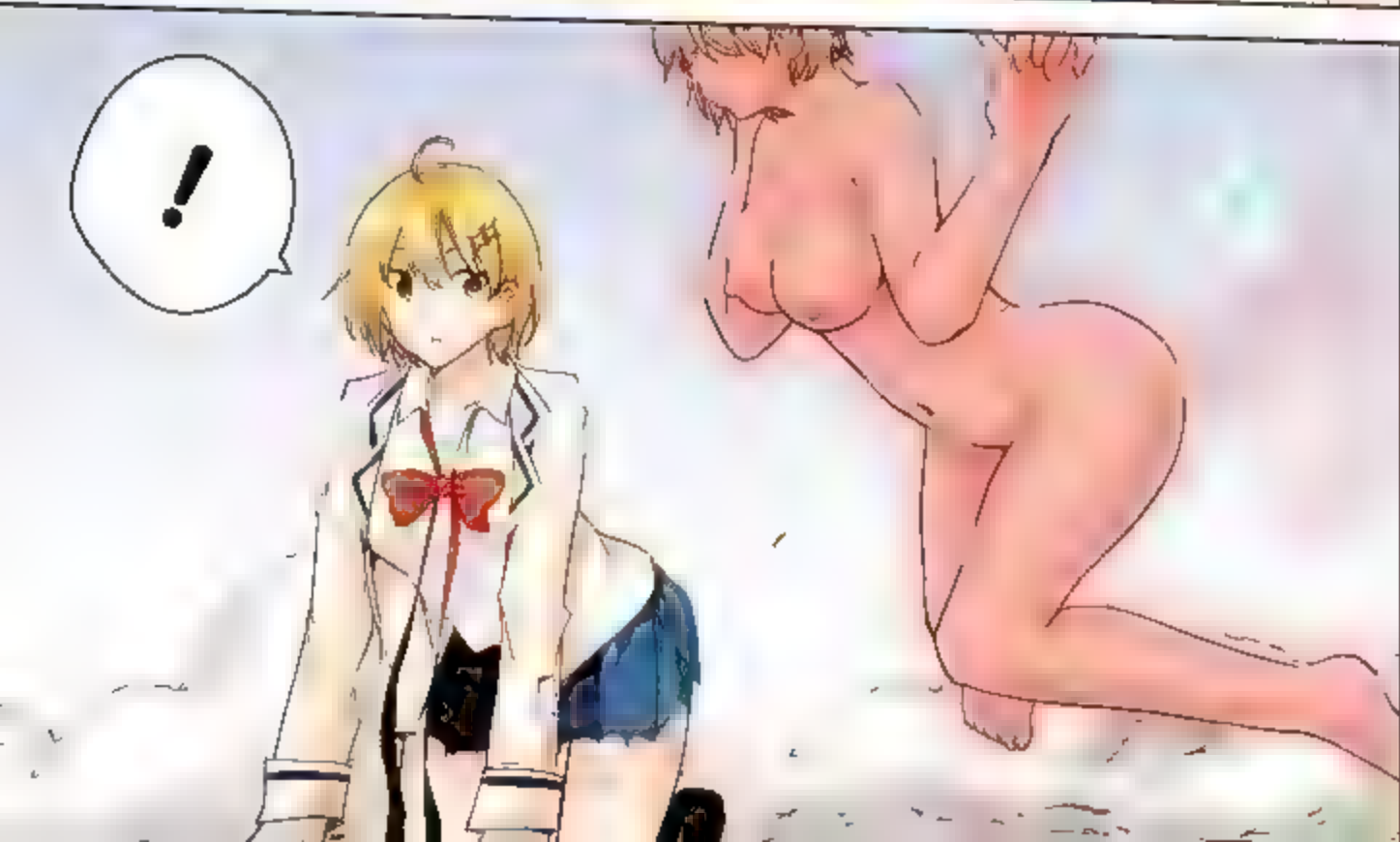
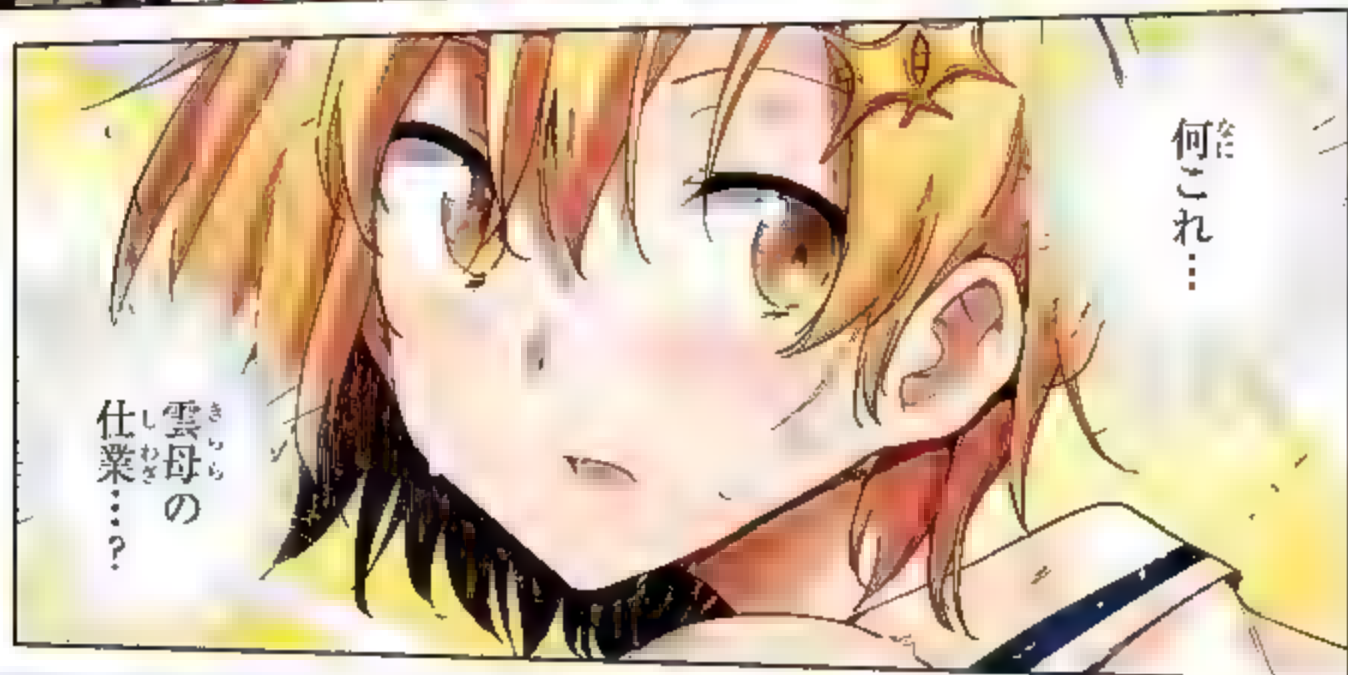
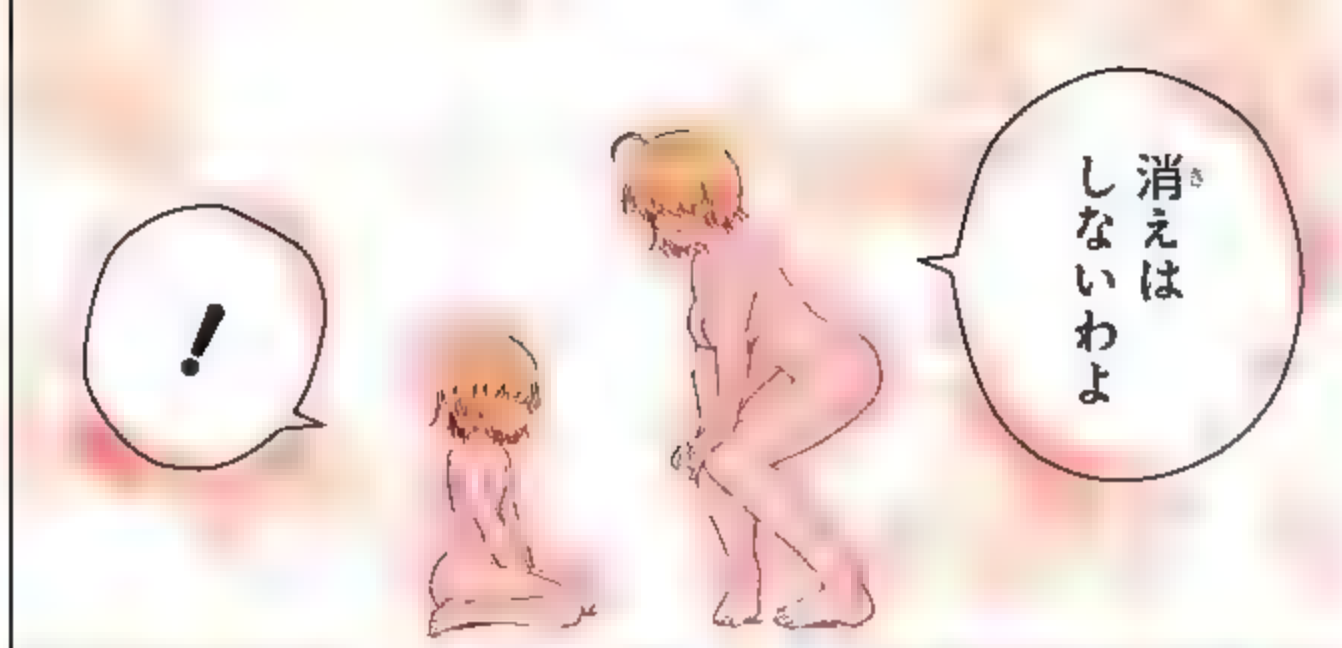
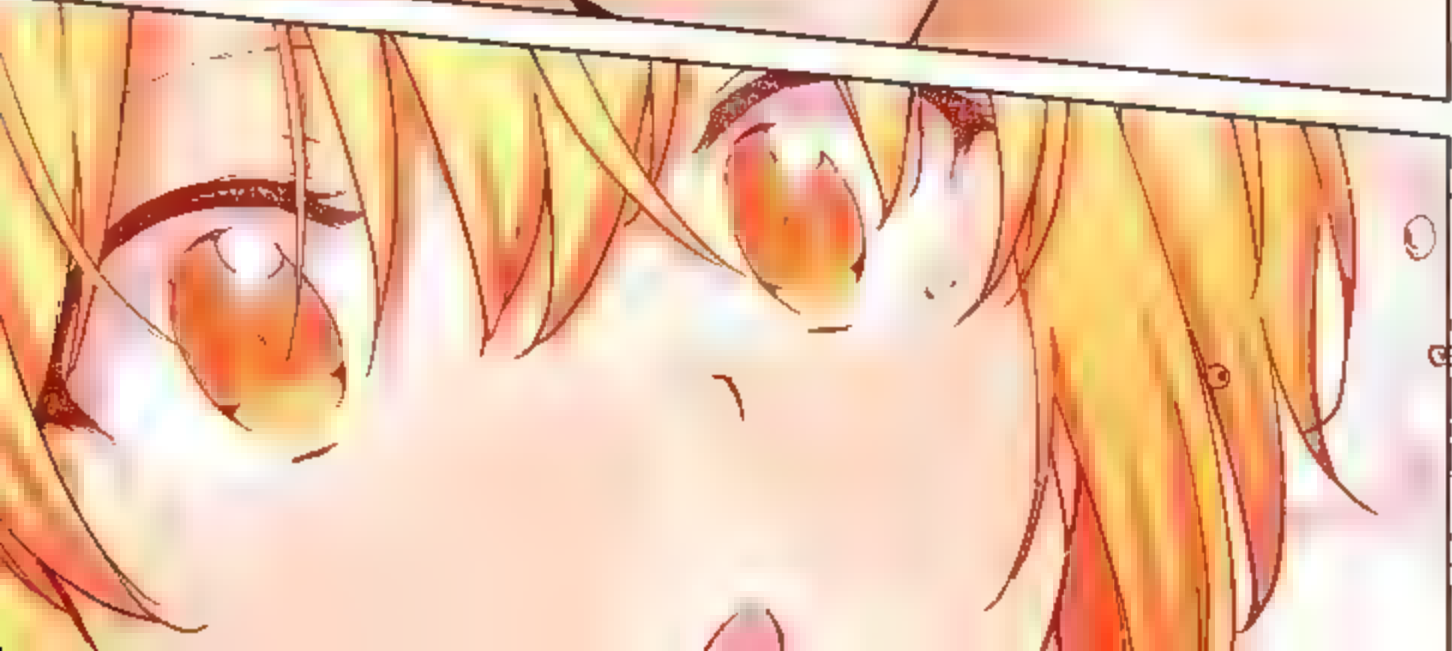
ぱっ

あなたのHネルギー
取り返させてもらったわ
これでわかった…？
私は自分の素質を認めたのよ
ズゥゥッ
やだ…
消えたくない…
!?

だってあなたはキセイ蟲の所為で切り離されただけの
私の一部なんだから

それじゃあ行きなさい

炎城烈人を助け出しに

目が覚めたみたいね

キセイ姫!?

人間的に言うと
〝愛の巣〟って言うんだっけ？

Extra Gallery
番外ギャラリー

第54話
覚醒

はあっ はあっ…

ふふ…

姫の口撃にまだ耐えるなんてしぶといわね

そんなに頑ならこっちにも考えがあるわ

!

!?

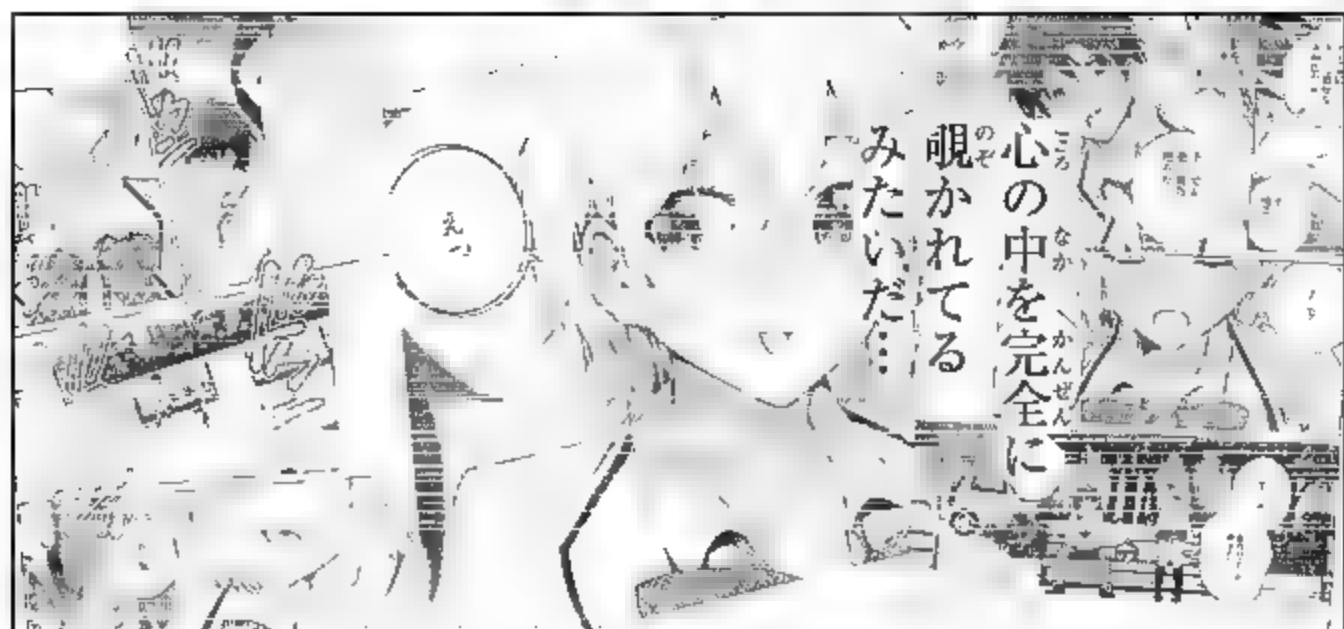
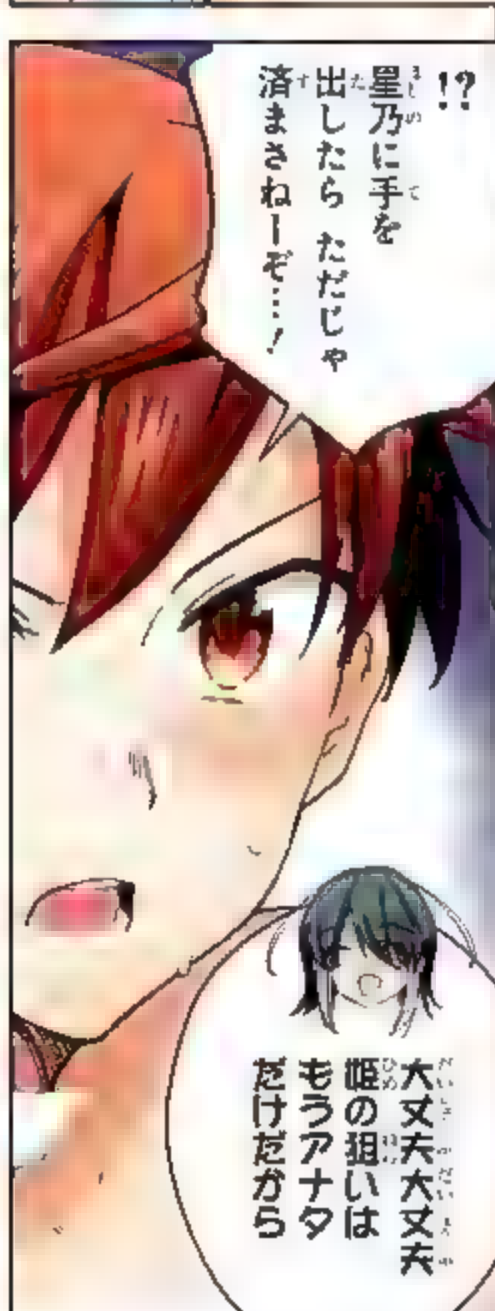
姫には人間に挿入すると感情を読み取れる触手があってね

アナタのツボだって理解っちゃうんだから

うねうね

そっ…それで一体何する気だ…？

大丈夫痛くしないから

やめっ…
ずんっ
あっ

ズ
はあっ
はあっ
なるほど
そーゆーことね♪
あの星乃雲母を
待たせてるから
こんなにも
強情だったの
!?
星乃に手を
出したら ただじゃ
済まさねーぞ…!
大丈夫大丈夫
姫の狙いは
もうアナタ
だけだから

それにもっと良い情報もあったしね

…？

クリスマス？って言うんだっけ？

一年の内で一番人間のHネルギーが豊富な日って

もしアナタが姫を満足させるHネルギーを作り出せないのなら

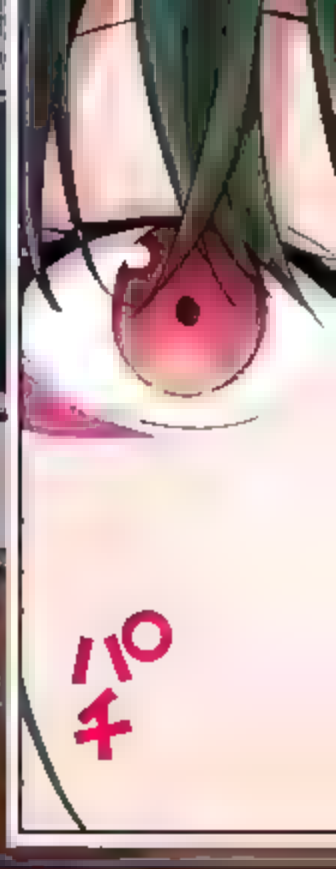
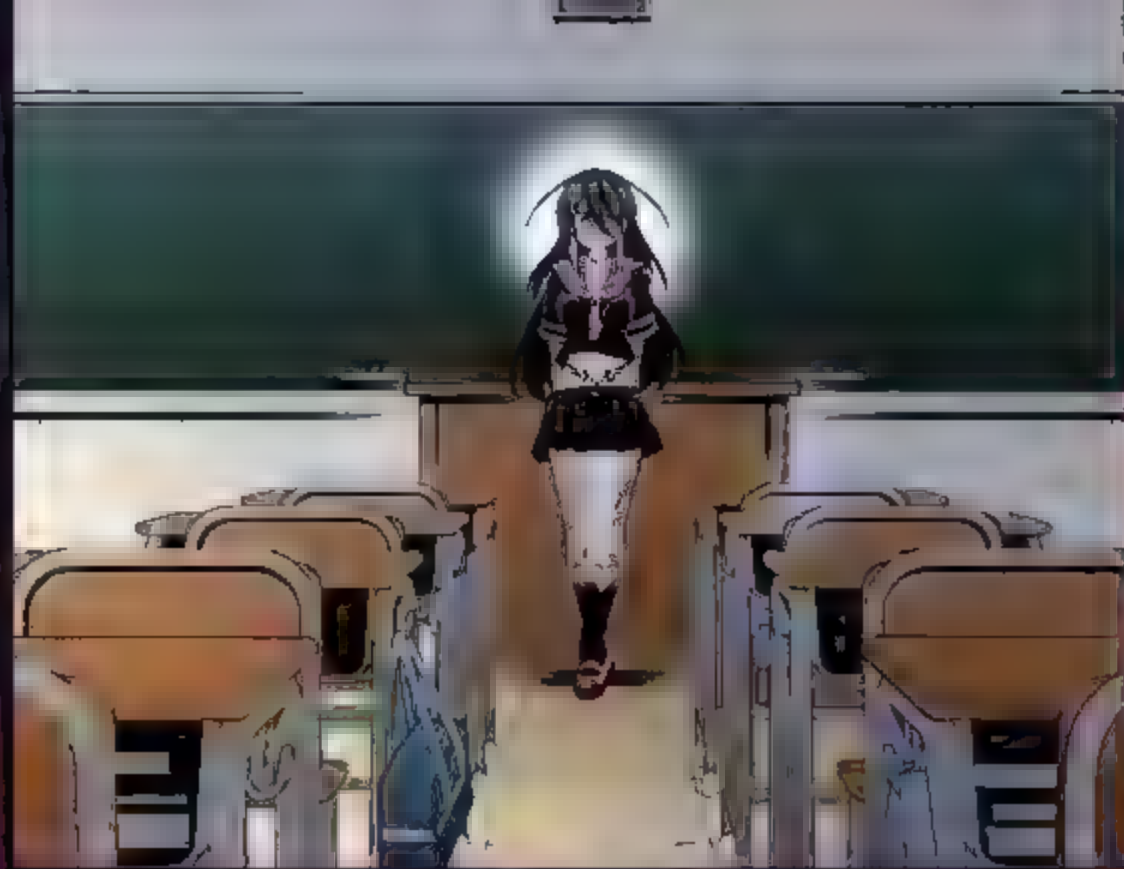
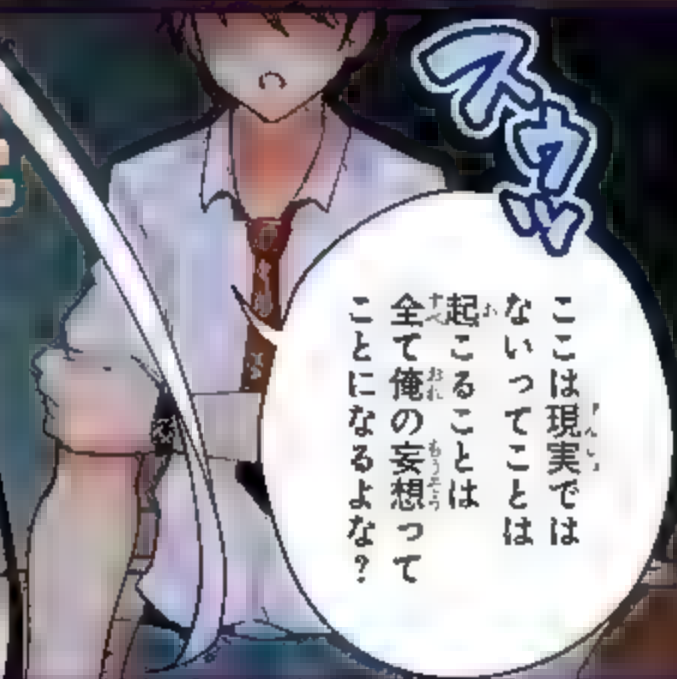
その日に各地のキセイ蟲に人間を襲わせて「地獄のクリスマス」にしてあげても良いんだけど？

そうなれば
もちろんアナタも
星乃雲母と一緒に
過ごすなんて
出来ないわよねー

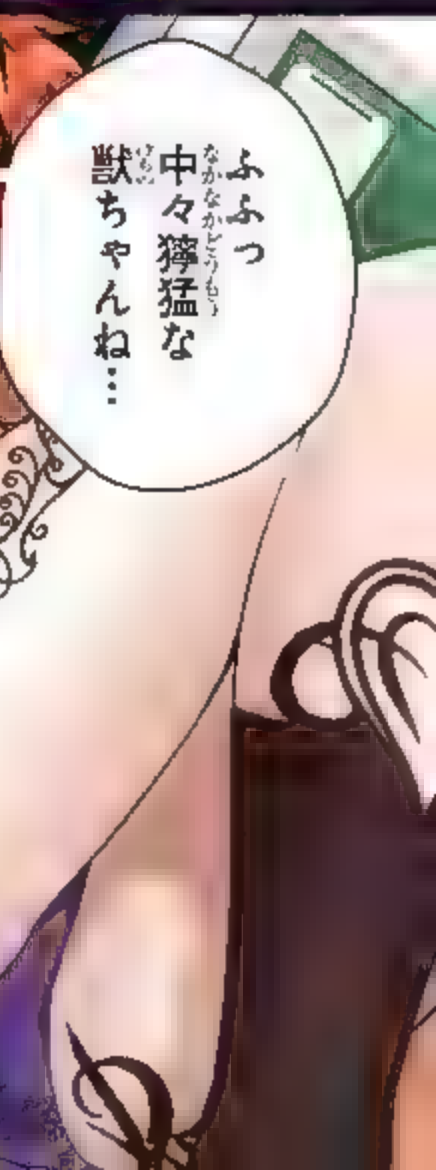
そんなことは
させるか…

出来れば使いたく
なかったけど こんな
状況だとそうも
言ってられない…
もしもの時の
為に考えていた
俺の技を…

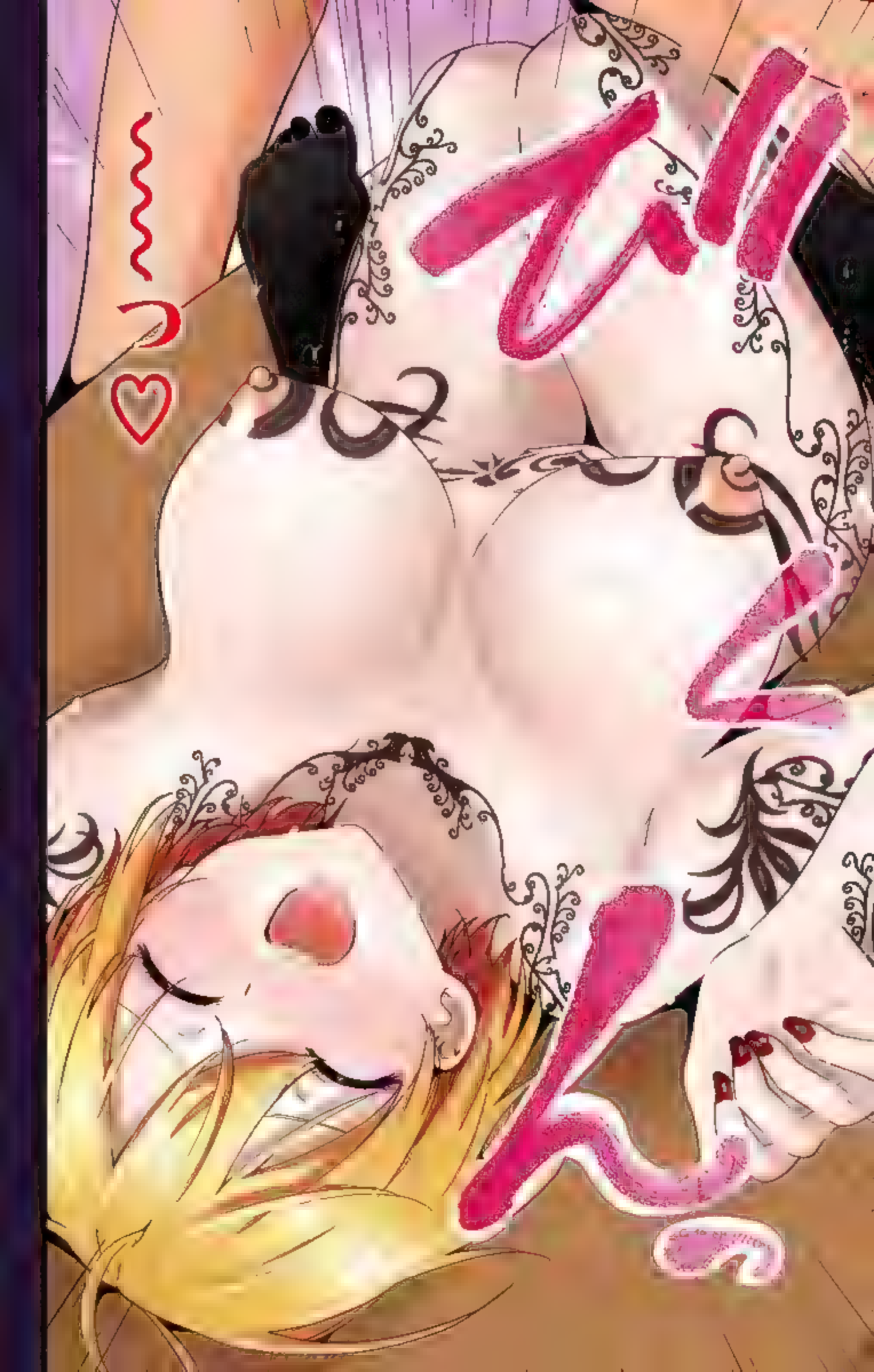
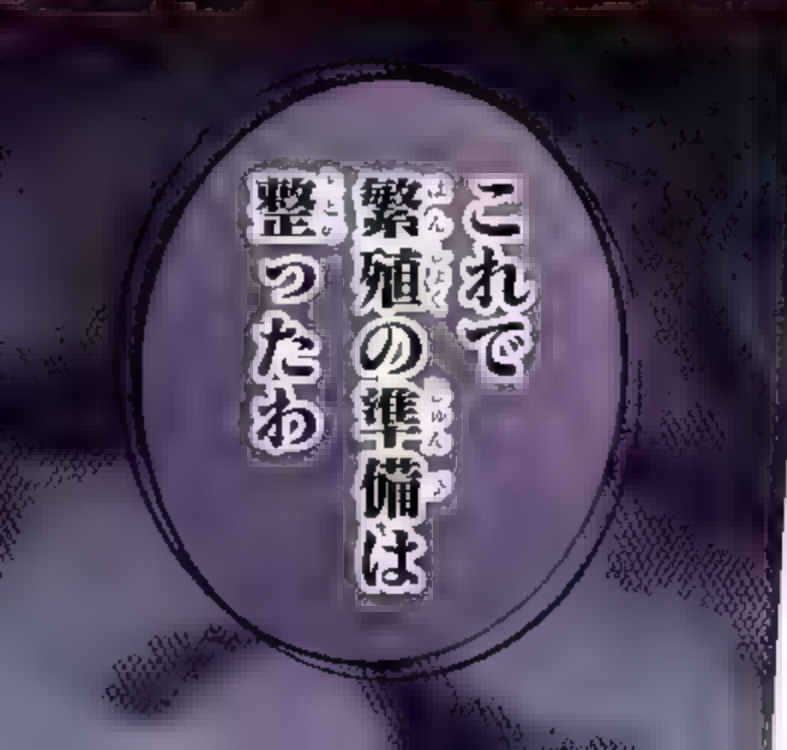
そこまで
言うなら見せて
やるよ…
俺の頭の中の
Hネルギー

さあ…もう一度
俺の中に
入って来い…！
面白い
見せてもらうわよ
アナタの本気の
Hネルギー

パチ
スゥ…
ここは現実ではないってことは起こることは全て俺の妄想ってことになるよな？
そうね
実際 姫達はただ横になってるだけ
それなら問題ないな
俺にもどうなるかわからないけどやるしかねー

師匠に教わった無装の法…
それに俺の妄想でチャチャの肉食状態を再現…
ガリッ
ドバッ
肉食無装状態
ばっ

んっ♡
ぷるっ
ふふっ 中々(なかなか)獰猛(どうもう)な獣(けもの)ちゃんね…
だけどその程度(ていど)であんなにイキってた訳(わけ)？

だけど…いい具合にHネルギー溜まってきたじゃない…
それならもっと興奮出来るようにサービスしちゃおっかな

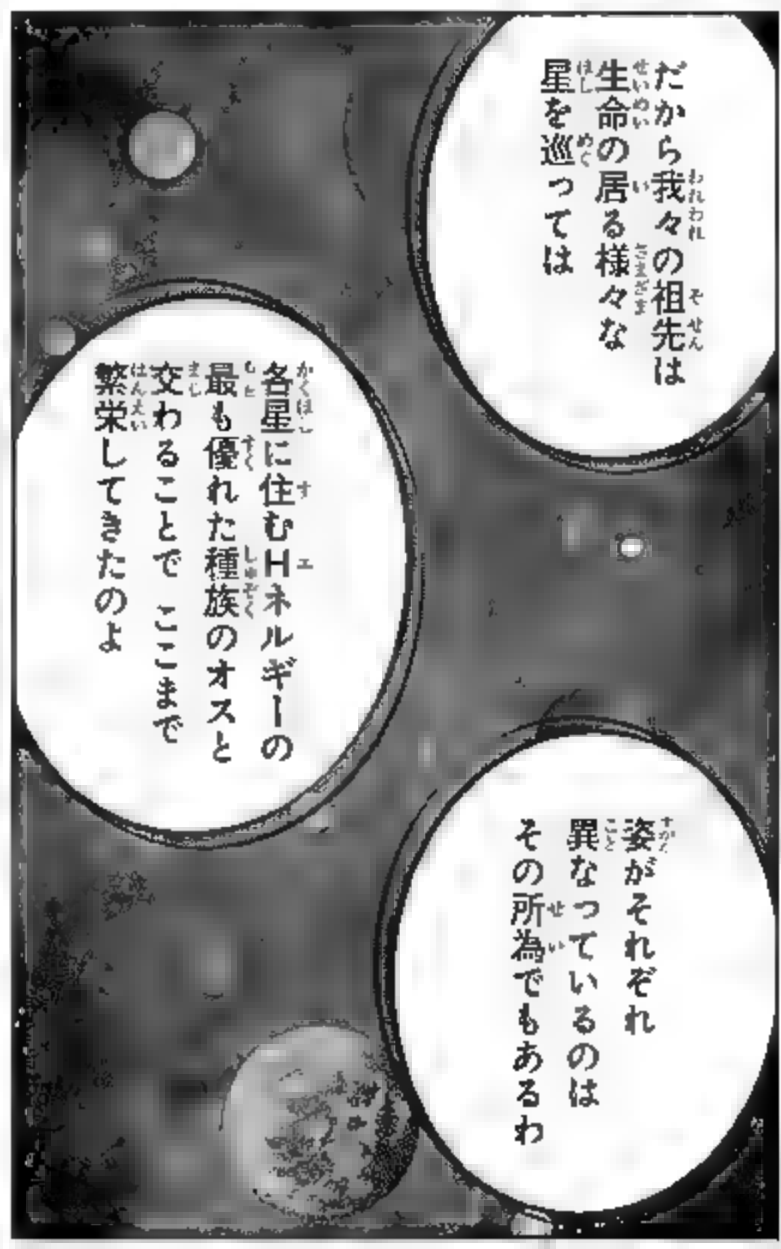
どう？
頭の中とはいえ
チームメイトをこうやってメチャクチャにするのは？

でも最後はやっぱり
星乃雲母が良いんじゃない？
むくっ
激しっ
んんっ

はぁっ♡
はぁっ♡
！
じゅるるっ
ありがとう炎城烈人…
満足したわ
た…助かった…のか？
これで繁殖の準備は整ったわ

さあ
姫にアナタの種を頂戴
種って…
そ…そんなの渡せる訳ねーだろ…！
ダメ…もう我慢できない…
どうしても嫌と言うなら…
うずうず

力ずくで
奪うだけよ

※時速60km
キカイ
ギャリリッ
きゃっ
ちょっと！こんなにスピード出す必要ある!?
あら 間に合わなくなって困るのは貴方達の方じゃない？

!
炎城烈人があの子を満足させたら全てがお終いよ
それってどういう意味よ…？
気になったことはなかった？我々にはメス型しか居ないことに
てかなんでアイツが助手席なんや…
だから我々の祖先は生命の居る様々な星を巡っては
各星に住むHエネルギーの最も優れた種族のオスと交わることでここまで繁栄してきたのよ
姿がそれぞれ異なっているのはその所為でもあるわ
でもそれが今回の件と何の関係があるのよ
鈍いわね

そのオスに選ばれたのが炎城烈人だって言ってるのよ
!?

そして姫を満足させたら最後…
繁殖モードに入り力ずくでもオスの種を奪おうとしてくるはずよ
そうなったら昂りを収める為にも戦わざるを得ないわ

いや種って…つまり
黙って
でもなんで女王のアナタは協力してくれるの…？

……

貴方達なら
〝狩り〟と〝耕作〟
どちらが楽に
食料を調達
できる？

そりゃあ
耕作の方が まだ
楽だと思います
けど…
やったことが
ないので
どちらとも…

それじゃあ
その２つと無尽蔵に
料理の出てくる
高級レストランと
だったら？

私はそれの
為に協力してる
だけよ

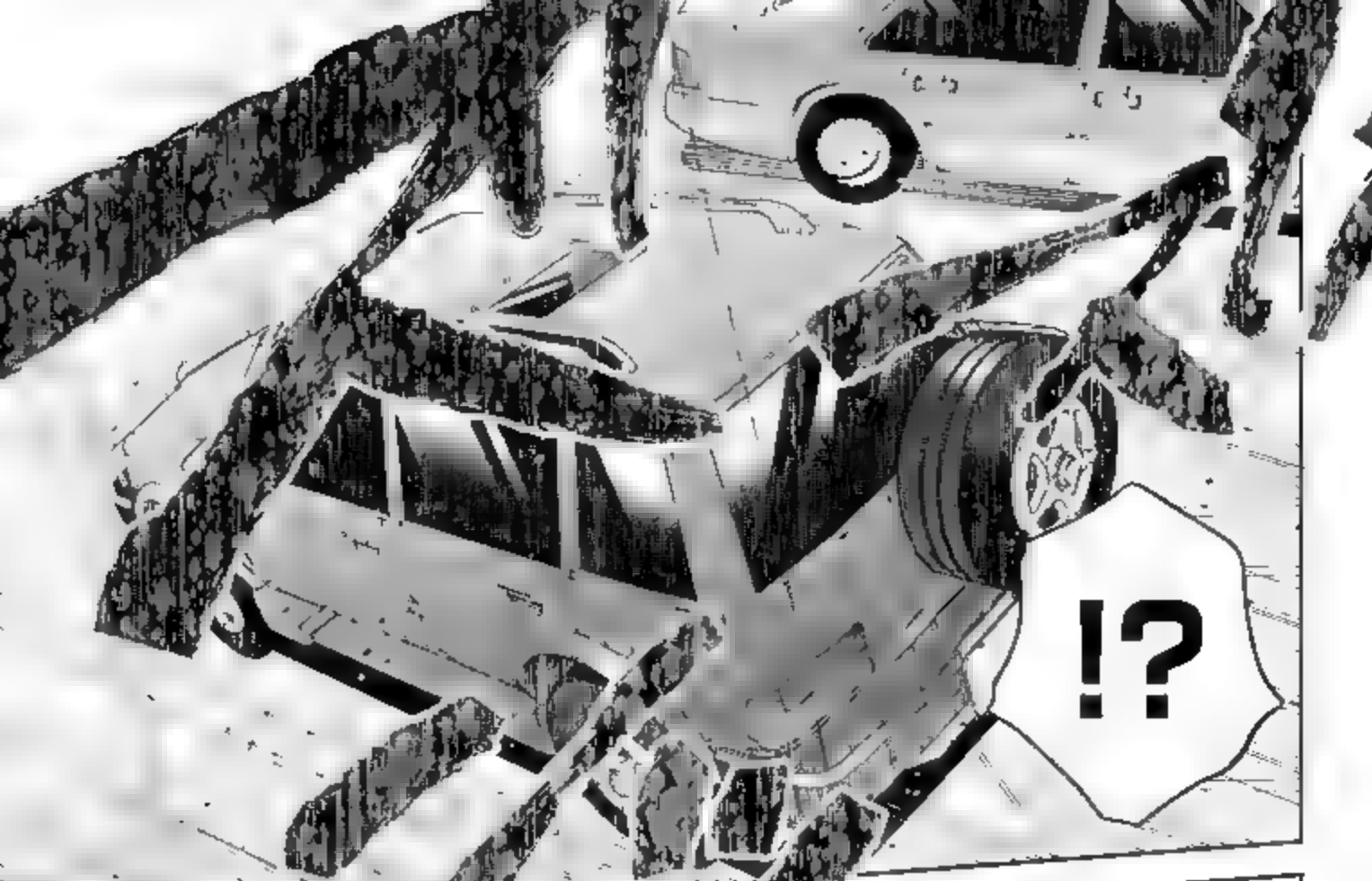
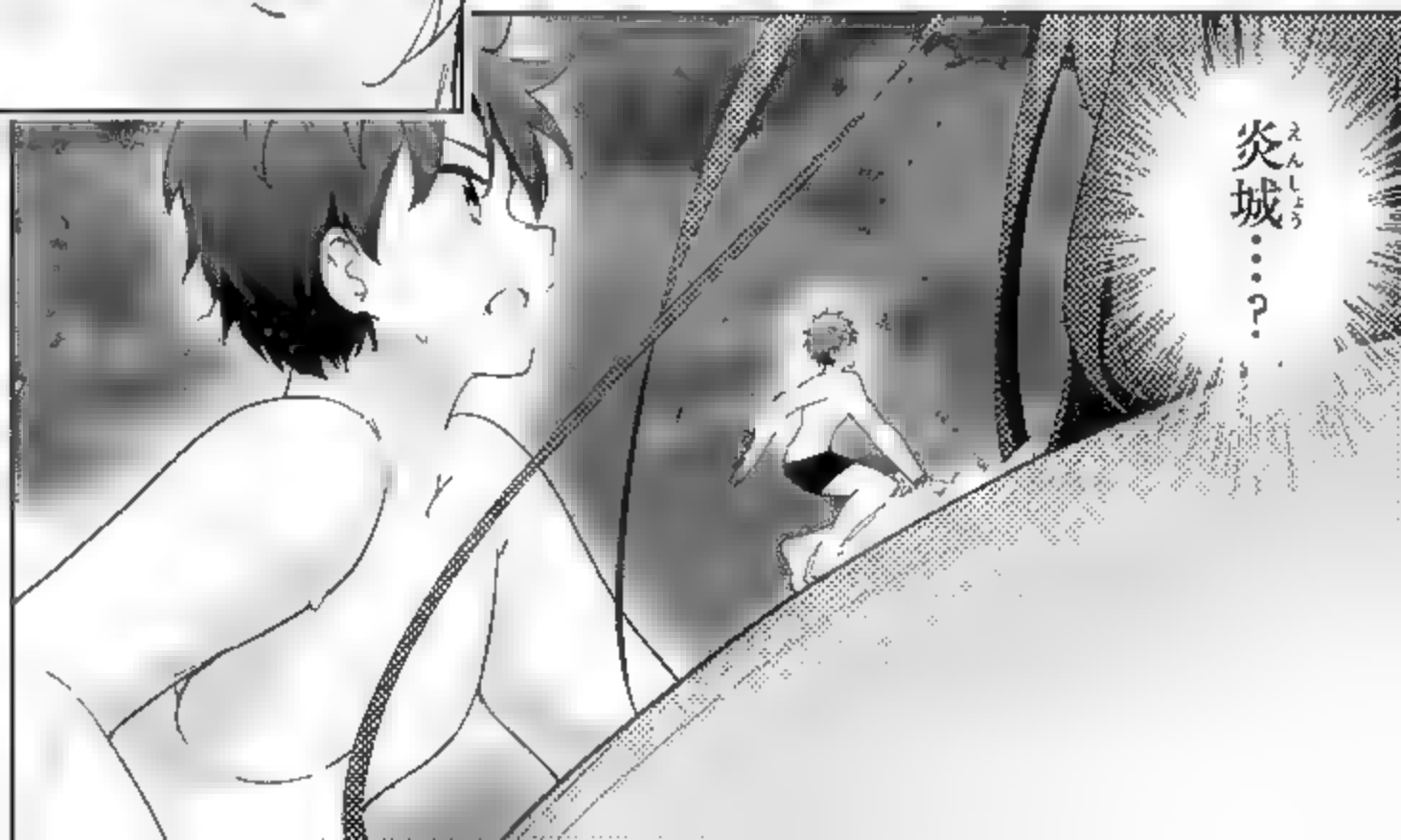
もしあなた達
エグゼロスが定期的に
Hネルギーを提供して
くれるのならの話だけど
誰も好き好んで
生態系の頂点に
喧嘩売りたくは
ないもの
いいわ
それで私達の
平和を脅かさない
と約束するなら
でもそれも
姫が繁殖しな
ければの話
!
もしまたキセイ蟲の
数が増えたら今度こそ
レストランじゃ
まかないきれないわ
そんな…

!?

何…今の衝撃…!?

地震か…?

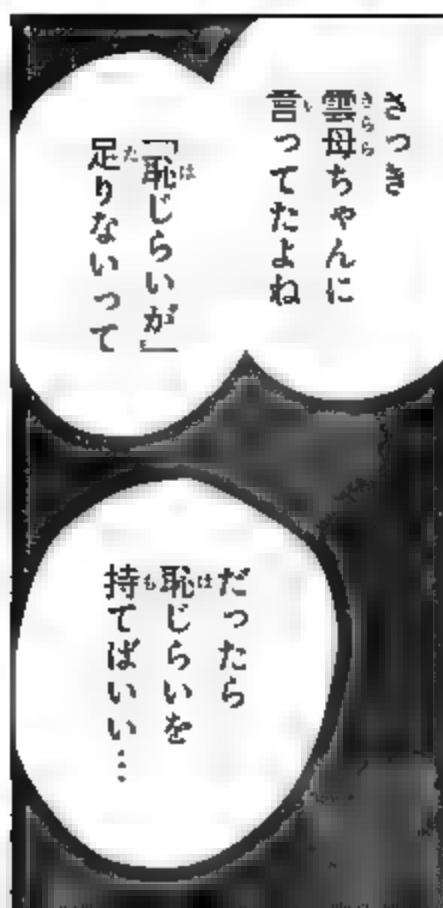
オオオオ
オオオオ

どうやら間に合わなかったみたいね…
ワーッ
ワーッ
あんなの倒せるの…？
まさかこんなに大きいなんて…
！
炎城…？

私達も加勢に行かないと…！

せやな…ウチらも行くで！
やめておきなさい

あなた達が行った所で太刀打ち出来る相手じゃ無いわ
なっ…そんなことやってみいひんとわからんやろ！

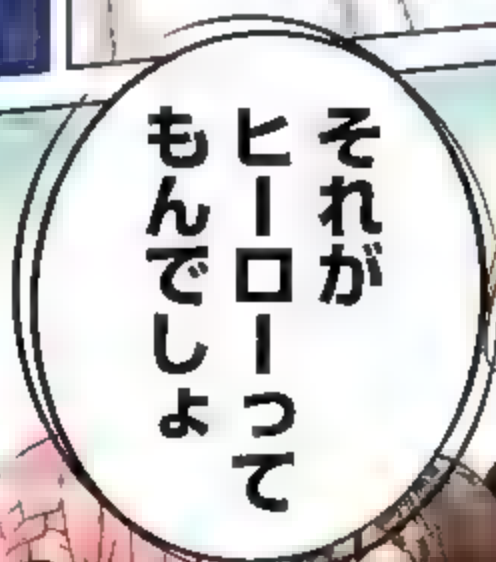
さっき4人がかりで私に歯が立たなかったことを忘れたの？
うっ…

で…ですけど…
私達だって黙って見てられません！
白雪さん…

へぇ
どうやって？
こうするの
するっ
そっ…
宙ちゃん 何
やって――
初心に帰って今回
XEROスーツは
封印しようと思って
それに雲母ちゃんを
助けた時も この方法
使ったから

それに自分が何でエグゼロスになったかを思い出せば
絶対に負けられないでしょ？

そ…そう言われると スーツの前は 私達すごい格好で 戦ってましたね…
まぁ確かに あの頃は ドキドキがハンパやなかったからな

ま…まさか本気じゃないわよね…!?
私達はいつだって本気よ
それがヒーローってもんでしょ

はいっ

くんくん
うわー
この匂い めっちゃ強い キセイ蟲の可能性あるねー
んなの見りゃ分かるっつーの
どうする…？ やっぱ止めとく？
あはは… ここまで来てそれはないでしょ…
あなた達…

ズオオ
ドッ
ドドドッ
うおっ
だから話を聞いてくれキセイ姫っ！
俺とお前とじゃ種族が違うんだから繁殖なんて出来ねーんだよ！

そんなことはない…

そうやって我々は繁殖してきたんだから

!?
どういう意味だ…?

知る必要はないっ!

あっ

うおっ!?

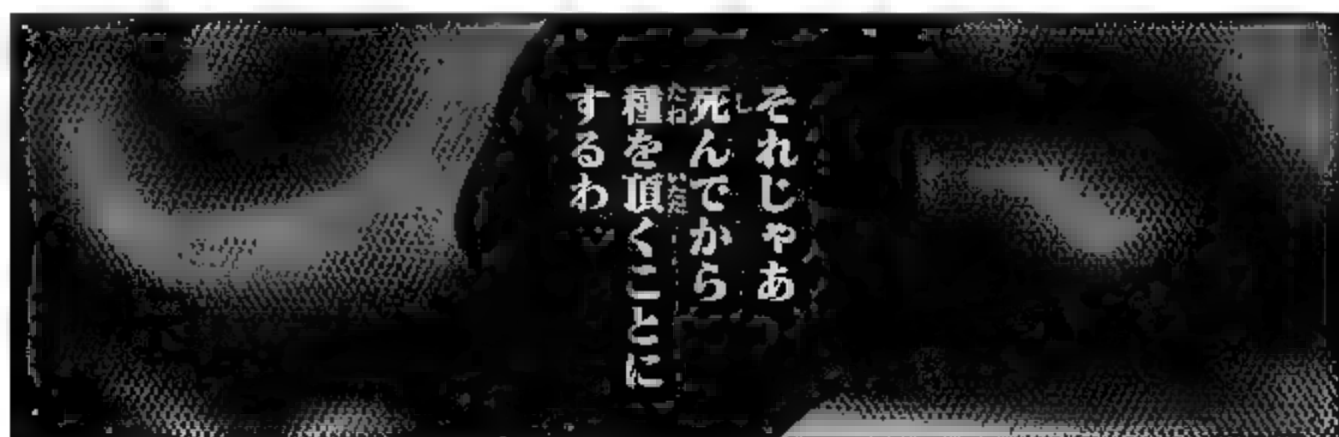
「好き」などと言う
感情は人間が勝手に
作り出したモノ……
この宇宙の他の
生物全ての繁殖の
選定基準は
ピシー

強いか
弱いかよ

じゃあなんでお前は人の形に擬態してたんだ…？

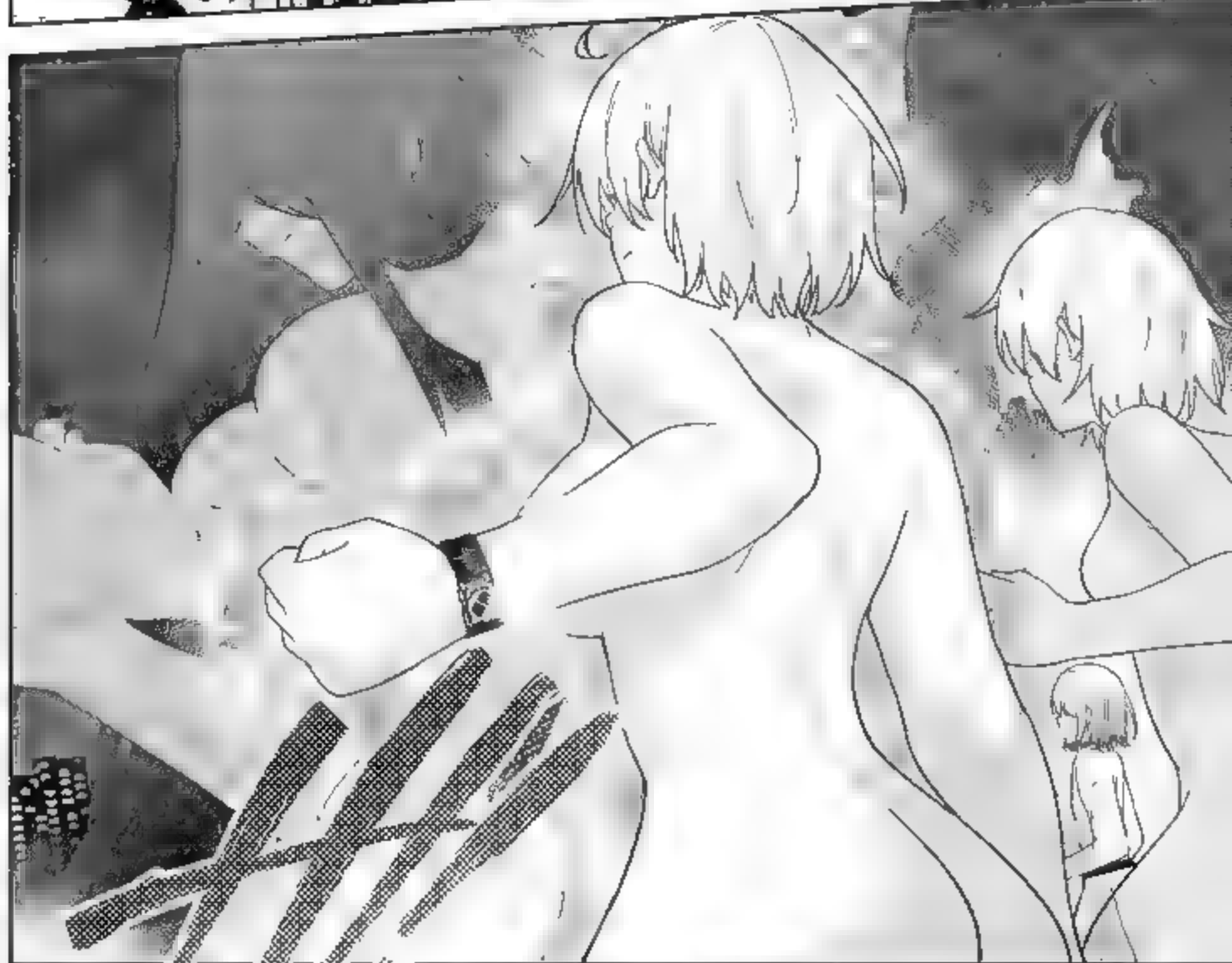
！

本当は人間のこと理解したいと思ってるんじゃないのか？
そんな訳ないっ！

知ってた？この星の昆虫には交尾中にメスがオスを食べる種が居るんだって
そうなりたい？
俺だったら…死んでも好きでもない相手と繁殖行為なんてしないけどな…
ギリギリ

それじゃあ死んでから種を頂くことにするわ

とは言ったものの…俺もHネルギーが尽きてきた…

コラ炎城っ
何腑抜けた顔してんのよっ！
ああ…ついに星乃の幻聴まで…

「ゆらぎ荘の幽奈さん」著：ミウラタダヒロ／集英社　単行本24巻への完結記念寄稿イラスト

最終話 エグゼロスよ、永遠に。

暁ちゃん さっきの地震 大丈夫だった…？

うん 平気平気

嫌な感じがする…
オオオォオォーォォ
お前ら…！

炎城っ！大丈夫!?
いや…
ちょっとキセイ姫の説得に失敗してこの有様だ…
状況を見るにそうみたいね…
邪魔しないでっ！

わっ!

やっぱり怒ってます……
どんな生物も交尾を邪魔されると一番怒るっていうからな

オレも炎城に良いとこ見せるチャンス…！
すっ
Hネルギー開放
バッ

!

すごい…
叢雨(むらさめ)さん…

効いてない…？

やっぱりHネルギーが吸収されるからなんでしょうか…？

助けて紫子ちゃんくっ！

お前ら…

キャーッ

オラッ

これじゃあ
いくらやっても
キリがないです…

どうにかして
本体に辿り
着かないと…

ここは全員
攻撃を合わせて
道を作るしかない
ようやな…

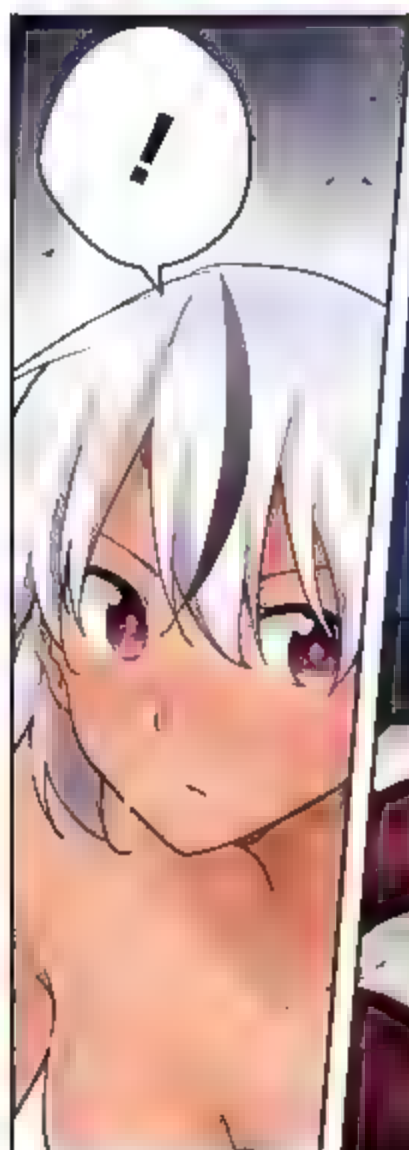
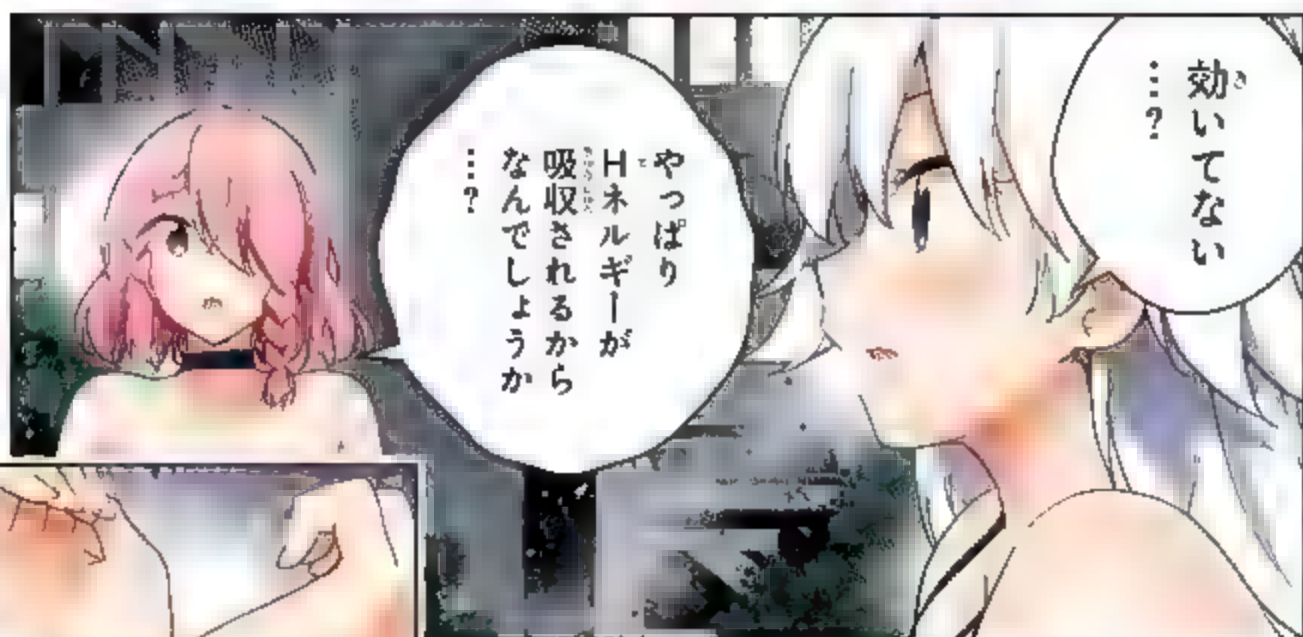
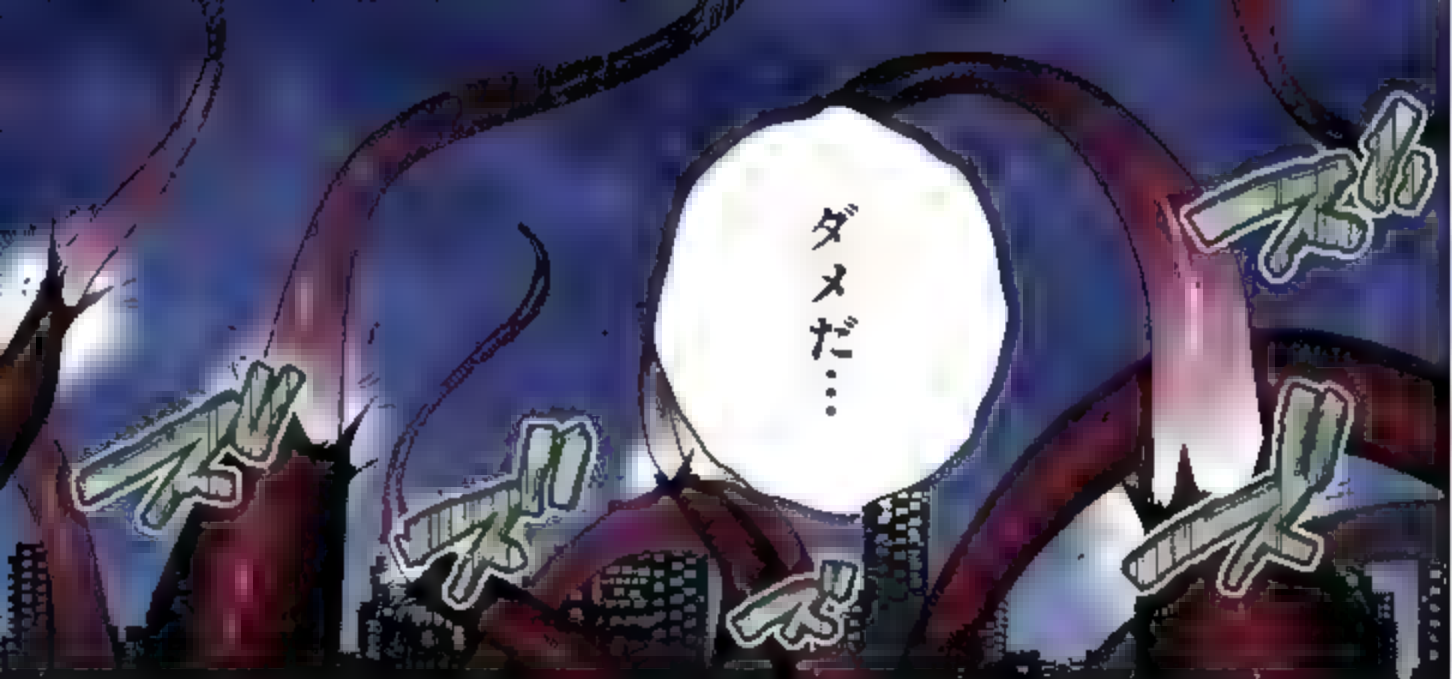
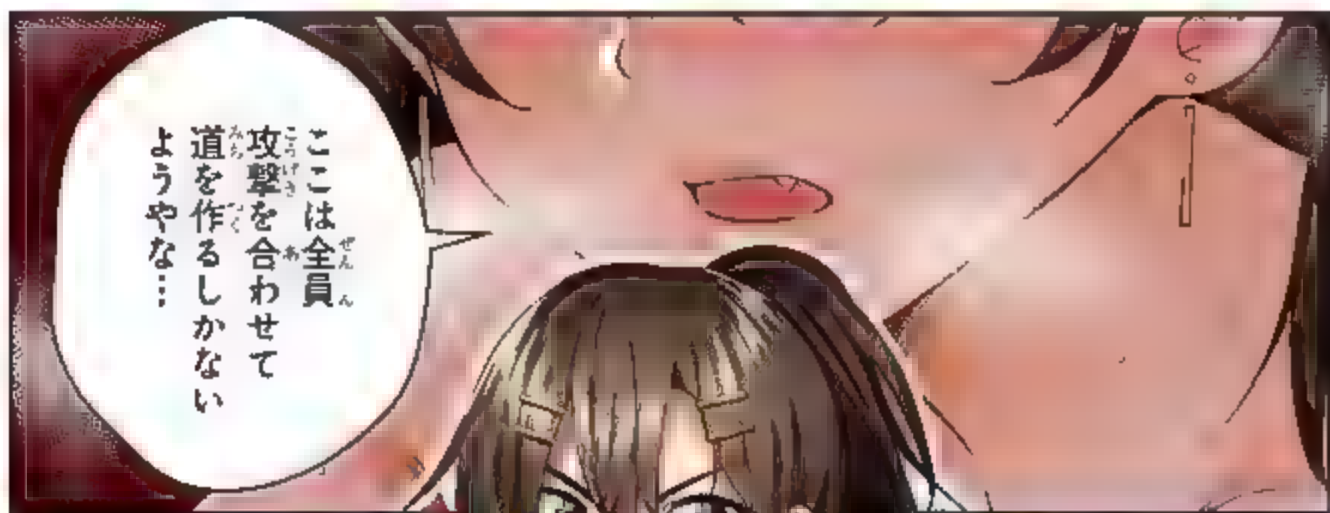
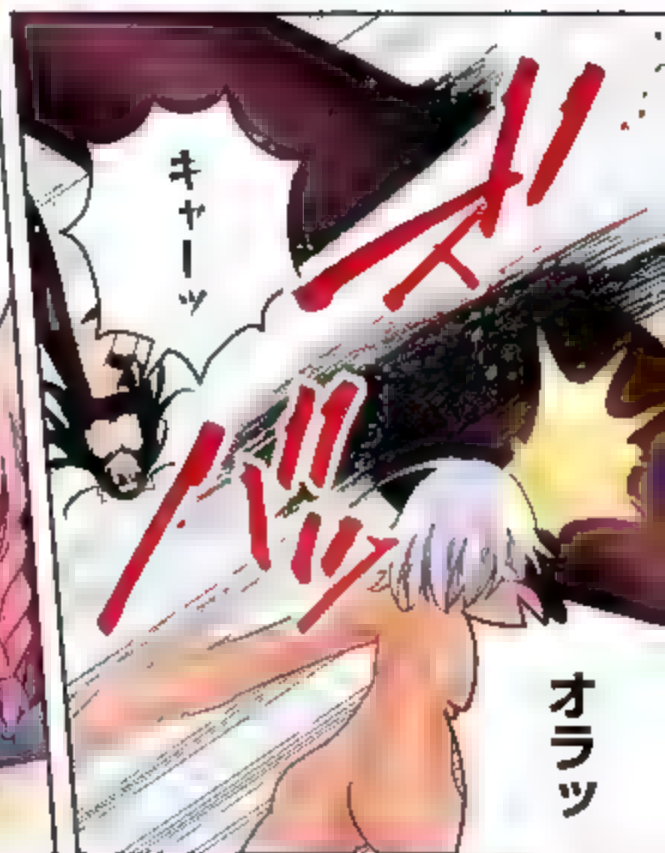
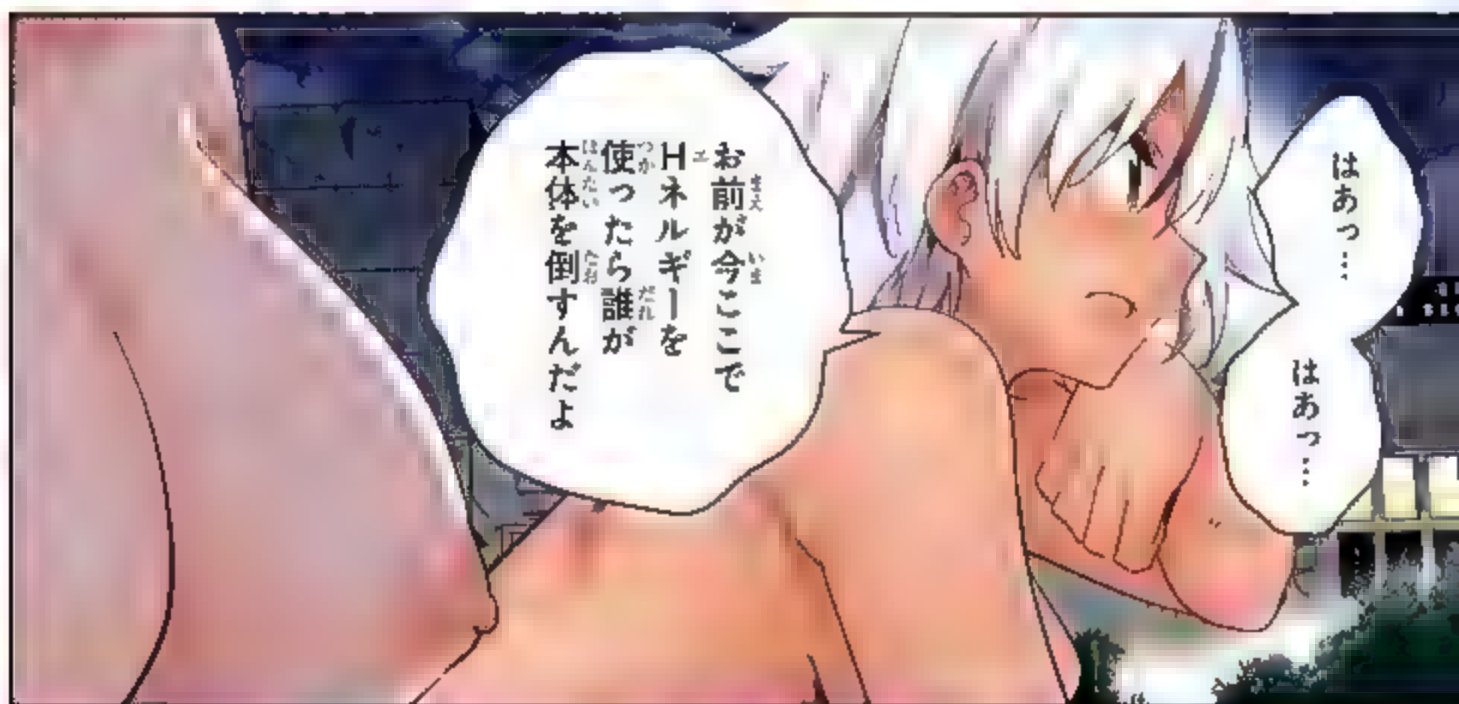
それじゃあ
行くで

ウチらのHネルギー
全部食えるもんなら
食ってみろ！

必殺(ひっさつ)
卍崩し(まんじくずし)

昇天の閃光
ドドドド

私も行きますっ
すぅぅっ

ソフロロジー砲

私も…
待ちな星乃雲母！
！

はあっ…
はあっ…
お前が今ここでHネルギーを使ったら誰が本体を倒すんだよ

触手の相手はオレ達に任せてお前は炎城を助けに行って来い
叢雨さん…

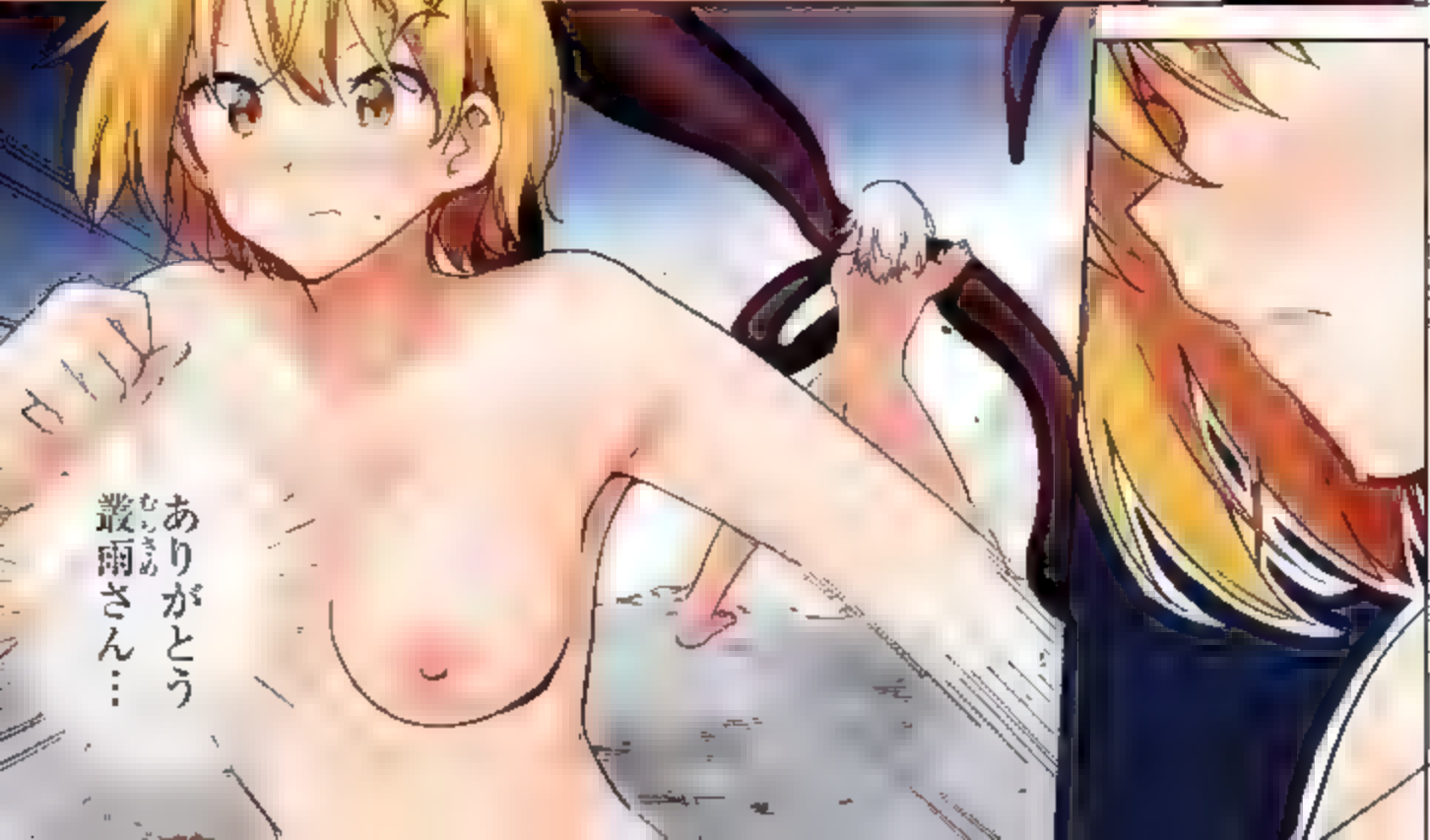
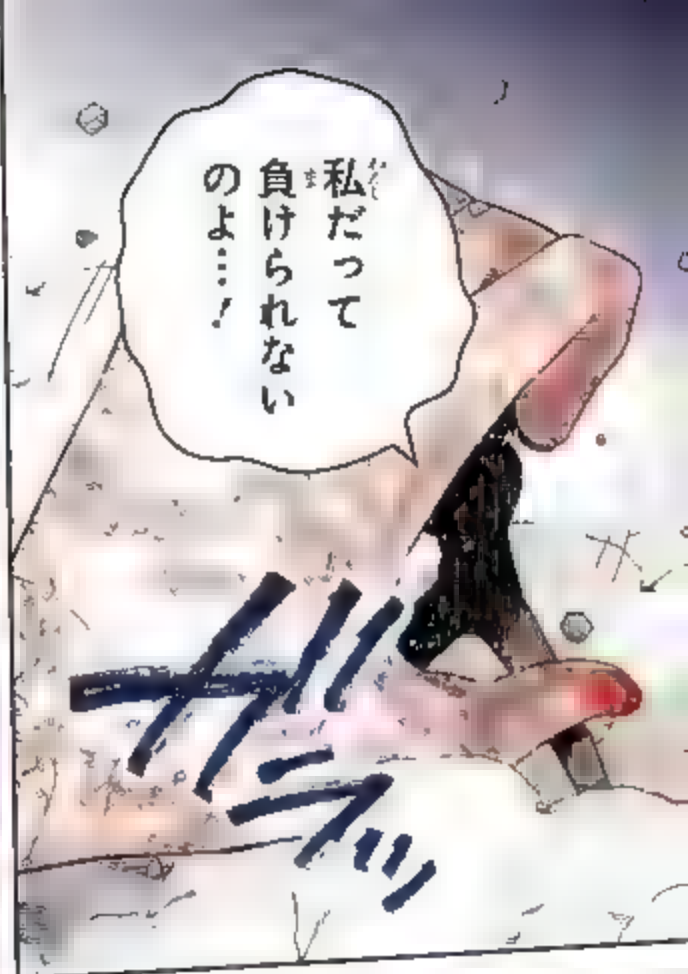
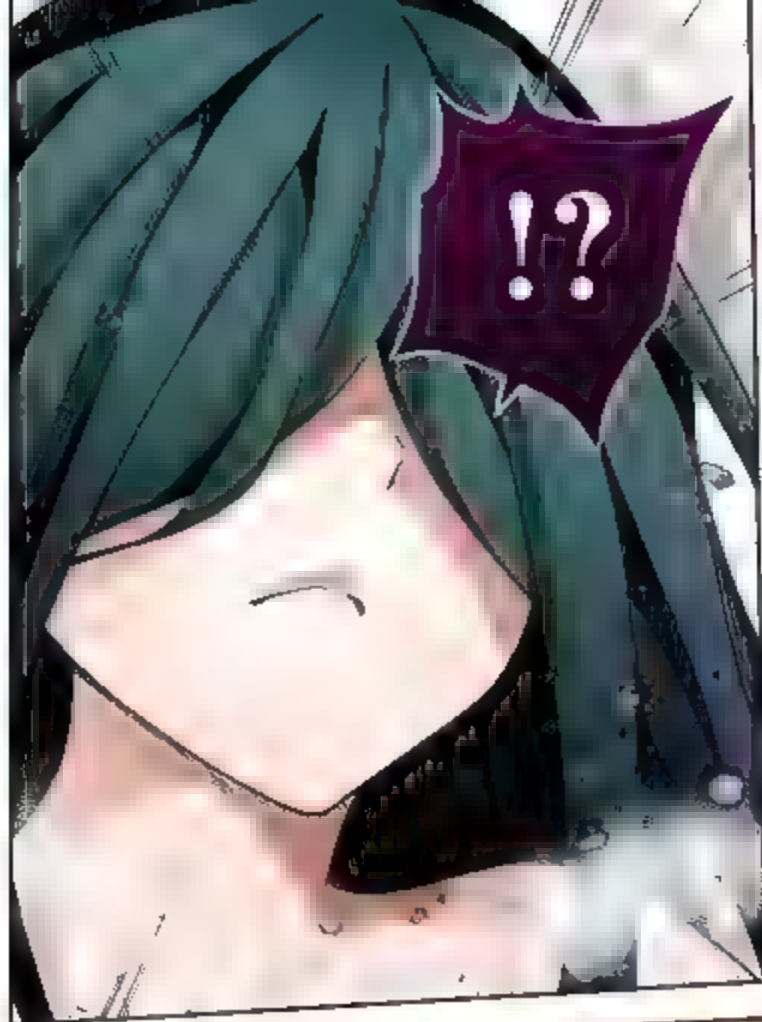
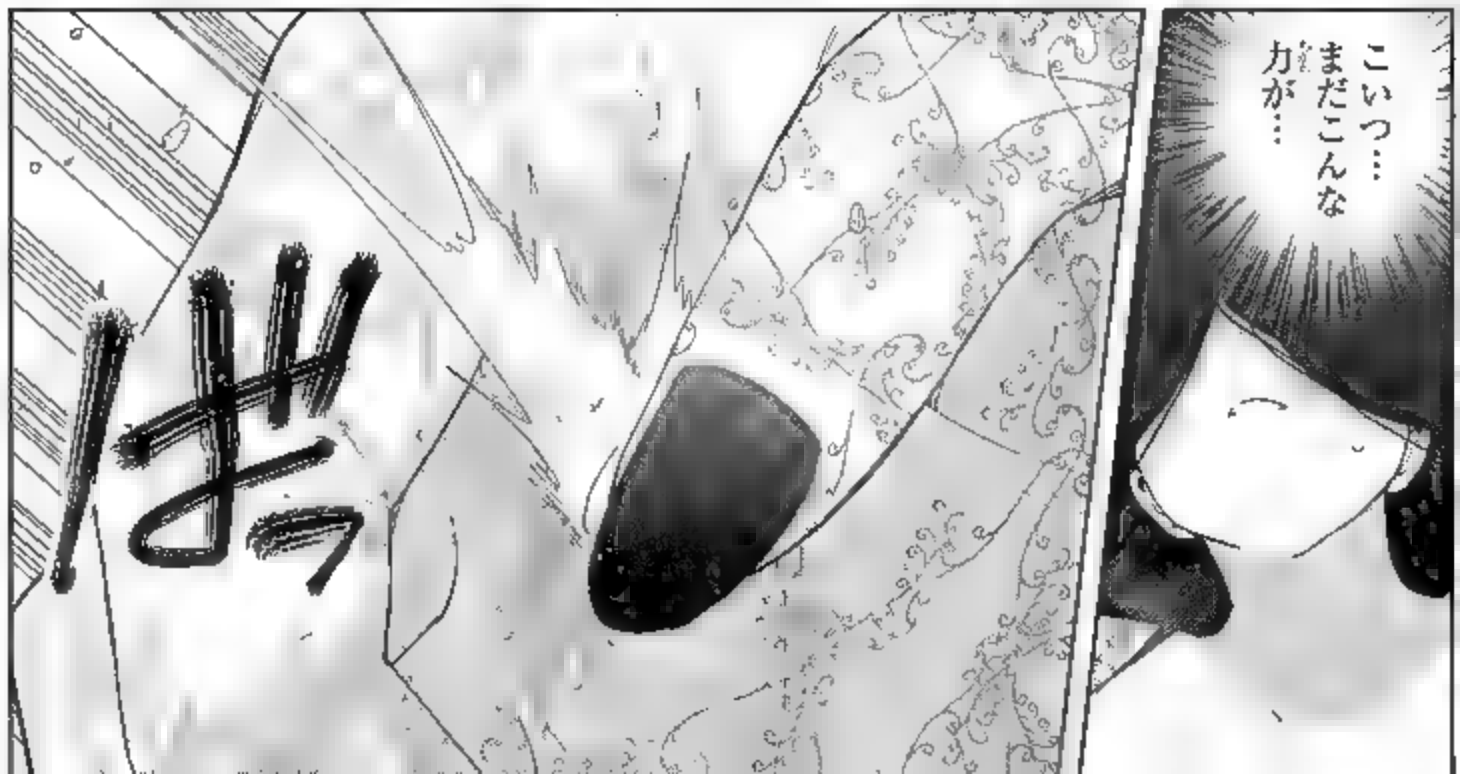
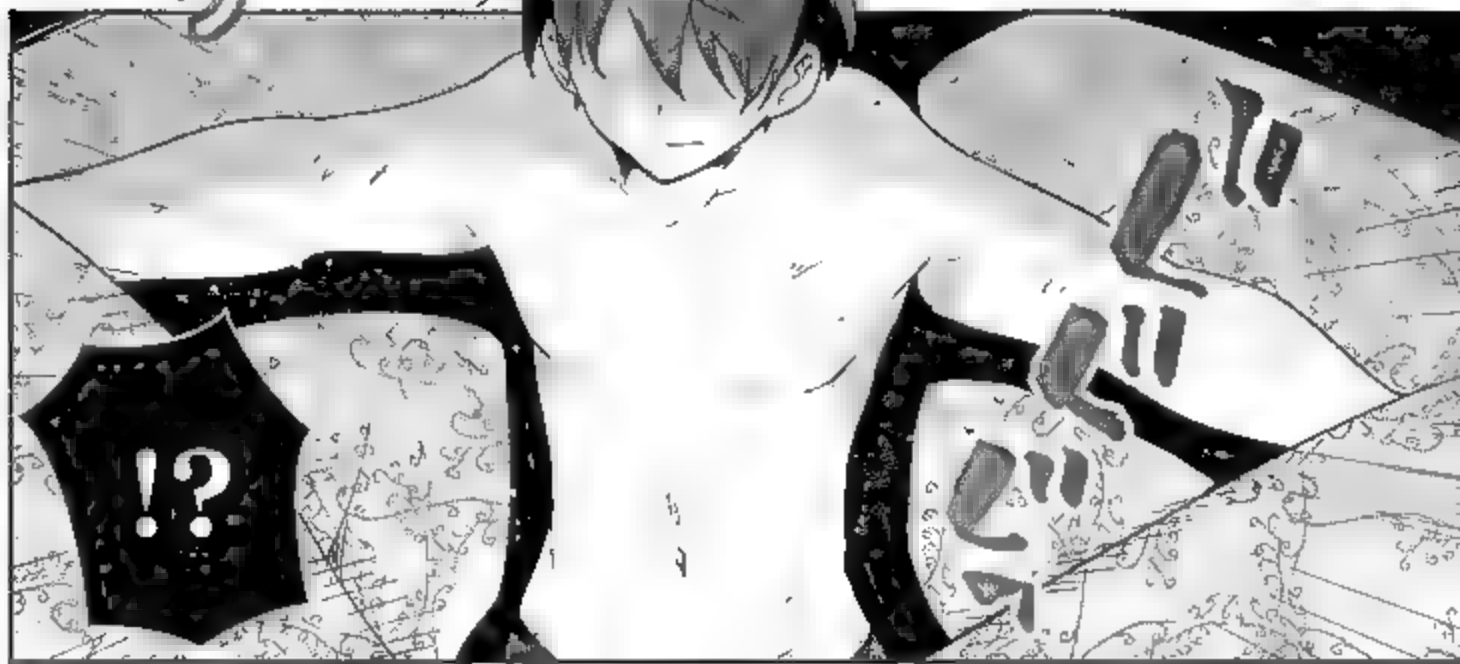
こっちのことは良いから行け雲母っ！
オレの活躍も炎城にちゃんと伝えとけよ
ありがとう叢雨さん…

クソ…
眷戦ってるって
時に俺は…
しっかりしなさいよ
炎城っ
星乃…！
それとも私の
返事も聞かずに
死ねる訳？

誰かと思えば星乃雲母か…
そんな訳…ないだろっ！
あの程度のHネルギーだったお前が私に勝てると思うの!?
ドゴッ

私だって負けられないのよ…！
ガシッ
!?
炎城に返事を伝えるまで…

私も同じ気持ち
だって伝える
まではね…

そんなこと聞かされたら…
このまま捕まったままじゃいられないな…！
ぱああっ
!?

星乃…さっき言ったこと…本当なのか？
ッ!?
ドキッ
とっとにかく話の続きは無事に帰ってから…！

ああ
それじゃあ さっさとあいつを 倒すとするか
そんなの 駄目…
ソイツは 私の物なんだから〜っ!
あっ

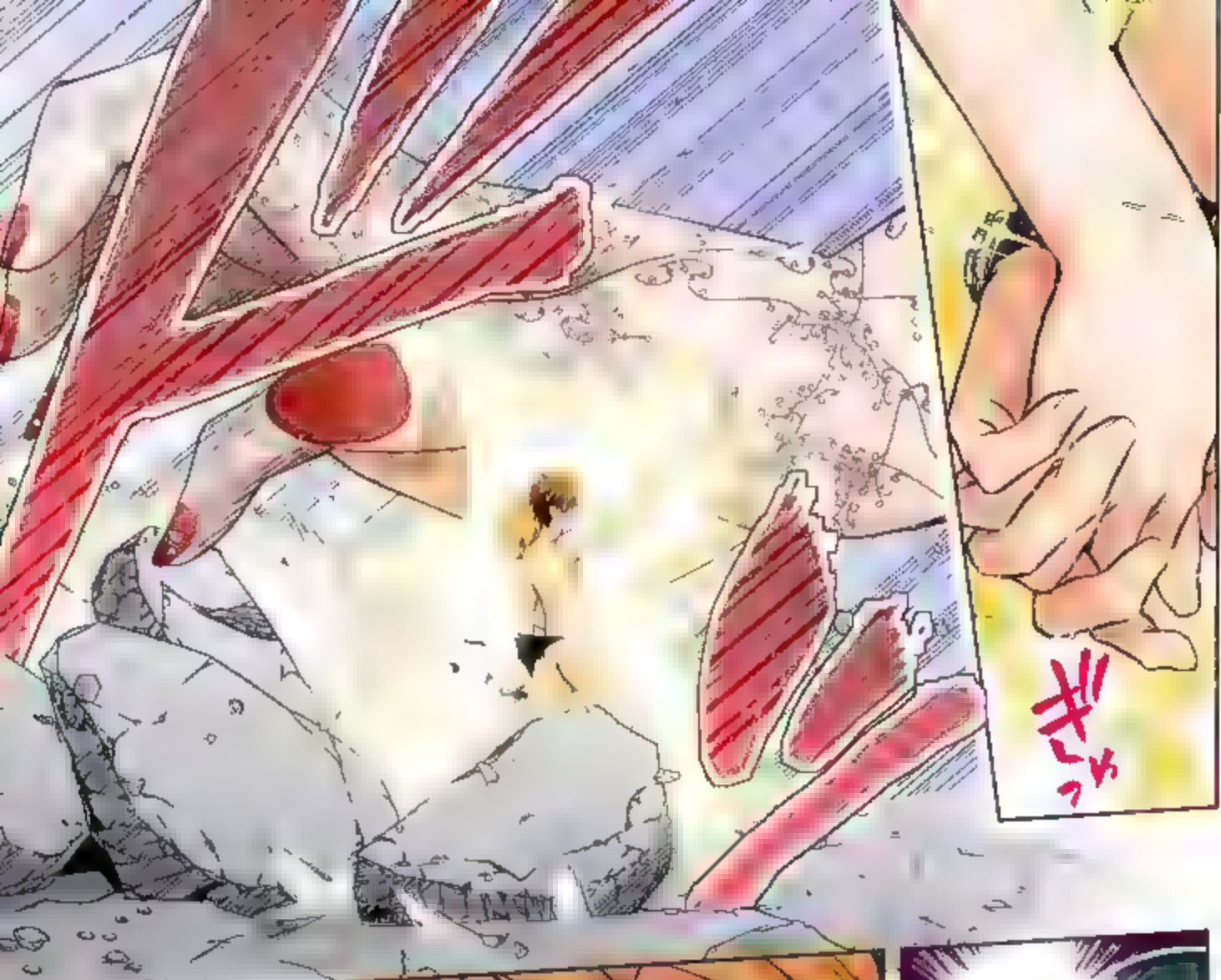
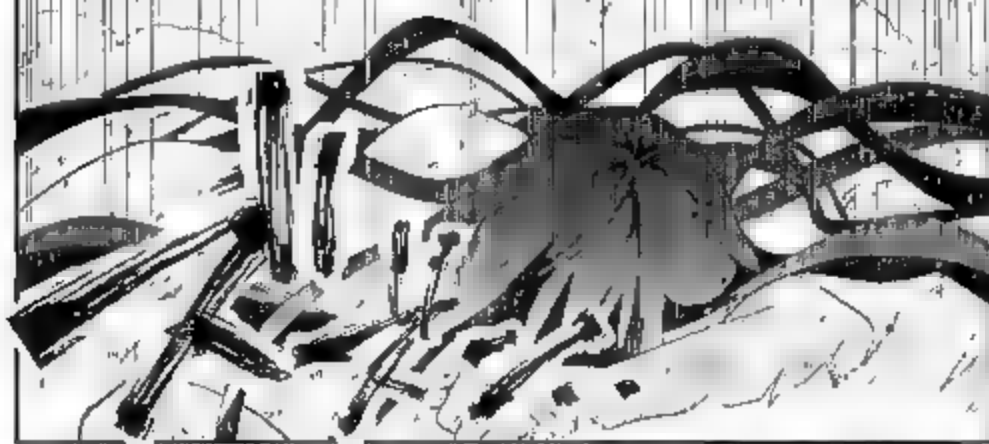
ぎゅっ
何…これ…？
前の時とは全然違う…
はああっ!!

これが
この二人の…
本当の
Hネルギー…

パァァァン

今の光って…

ああ…

雲母がやったみたいだな…

わかったか
キセイ姫…
これが同じ気持ちの二人のHネルギーだ
カァァッ
それに人間っていう生き物はな
種の生存本能よりも自分の感情で子孫を残す生き物なんだよ

もしお前が本当に俺と交配したいのなら
力ずくじゃない方法で俺を惚れさせてみるんだな

ママ…チャチャ…

あ…姉上…人間は敵じゃないのだ…！

そ
つまり私達は
人間に〝キセイ〟
するのではなく
人と〝キョウセイ〟
する道を選んだ
ってことよ
ちょっと
ジロジロ
見ないで
よ…！
みっ
見てねーから
…！
……………
どうやら
私達はお邪魔の
ようね
それじゃあ
この子のオシオキが
あるから
もう行くわね
へっ!?
しゅるるるっ

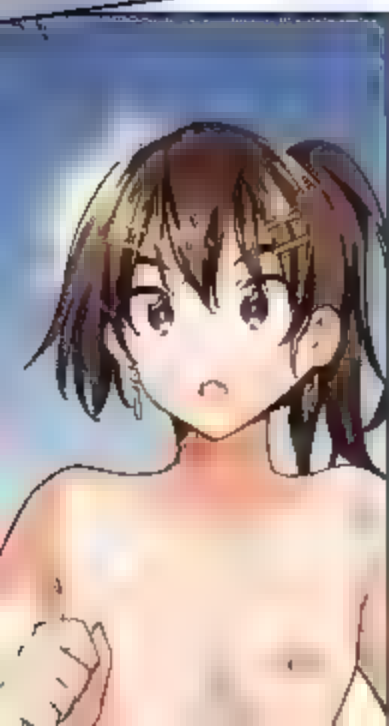
それじゃあこれからもよろしくねお二人さん♪
ばさっ
ごめんなさい〜っ
!
これからもって一体どういう意味だ…!?
それは後でのお楽しみよ

終わったの…？
ああ…今回こそ多分な…
ってそっちの方は見てないからな!?
いいわよ別に…

だって…これから
もっと見ることに
なるかもしれない
でしょ？

星乃…

ドキッ

たっ

って倒したばっかりやってのに まだギンギンやないか二人とも…
そっそう?
なんか怪しいぜ…

そういえば誰か着替え持って来てない…?
急だったから持ってくるの忘れたかも…
まぁでもサイタマ支部はそんな物要らないんじゃない?
んな訳ないやろ!!
まぁまぁ二人とも…

かと思われたのだが

先行ってるぞー

待ってよお兄ちゃんー

俺たちエグゼロスの活動は実家に帰っても続いていた

女王キセイ蟲の指示に従わず ゲリラ的に人間のHネルギーを狙うキセイ蟲が絶えることはなく

おはよ〜烈人〜
だきっ
!?

何すんだよヒメ!?
何って 好きアピールしてるだけだけど？

自分で言ったでしょ？
自分を惚れさせてみろって

わかったから離れろって！
こんなとこ星乃に見られたら…

おはよう炎城くん…
宵月っ星乃…!?
ギクッ
これは違うんだ…!
?
行こ宵月さん
うっうん!
あれ…?
なんでだ…?
こんなとこ見られたら いつもだったら怒られる所なのに…

放課後――
星乃…
今朝の事だけど…
あれはなんというか事故みたいなもんで…
別に嫉妬するようなことじゃないでしょ？
だって彼女は私だけなんだし
それはそれで悲しいというか…

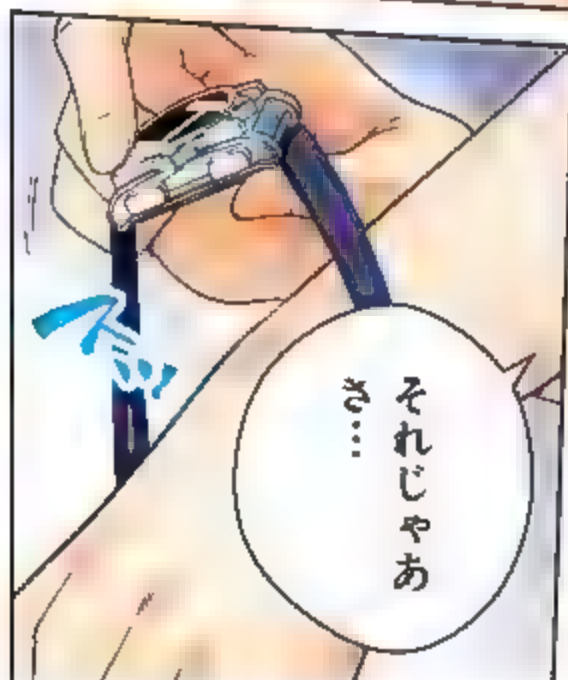
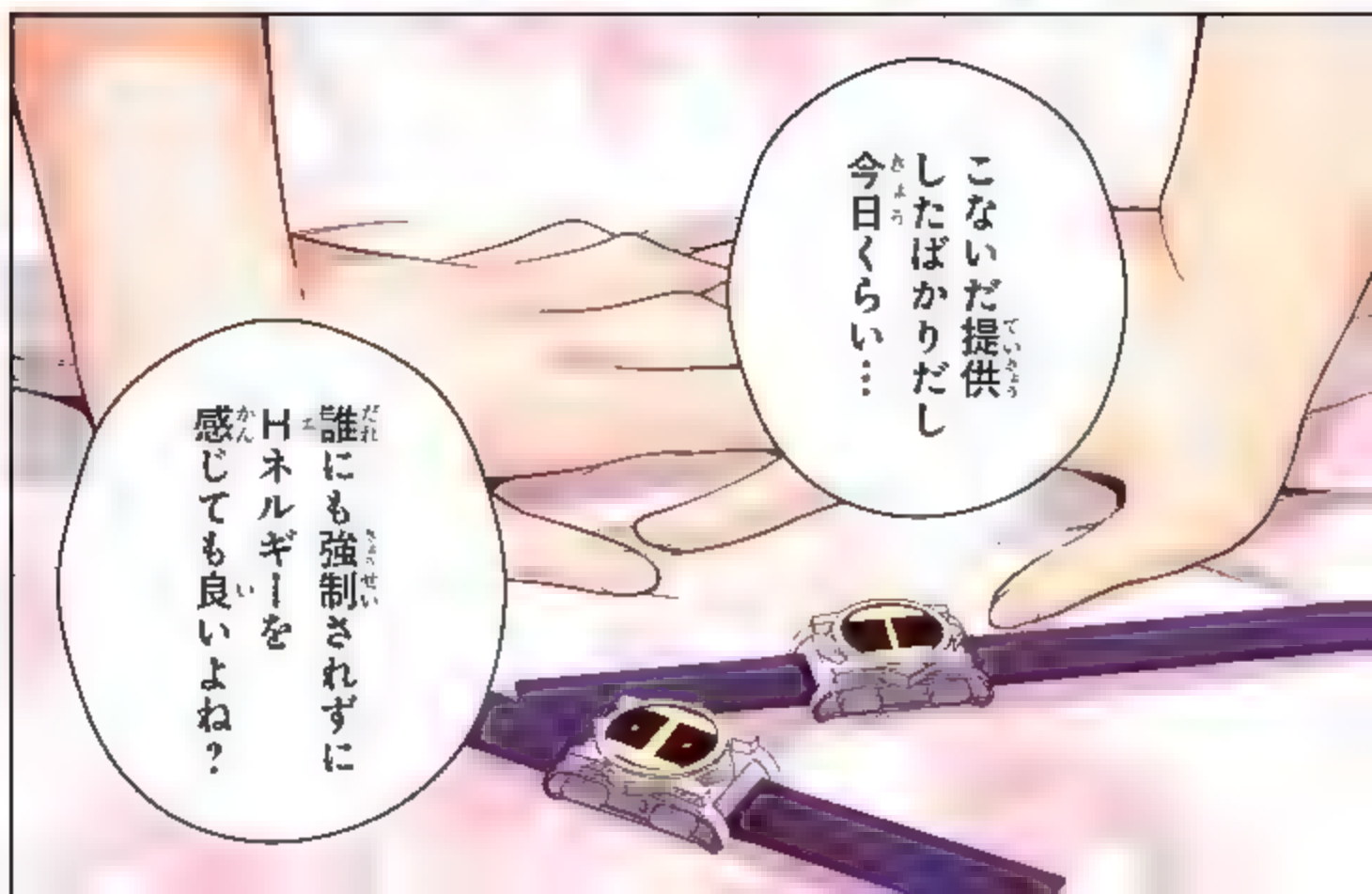
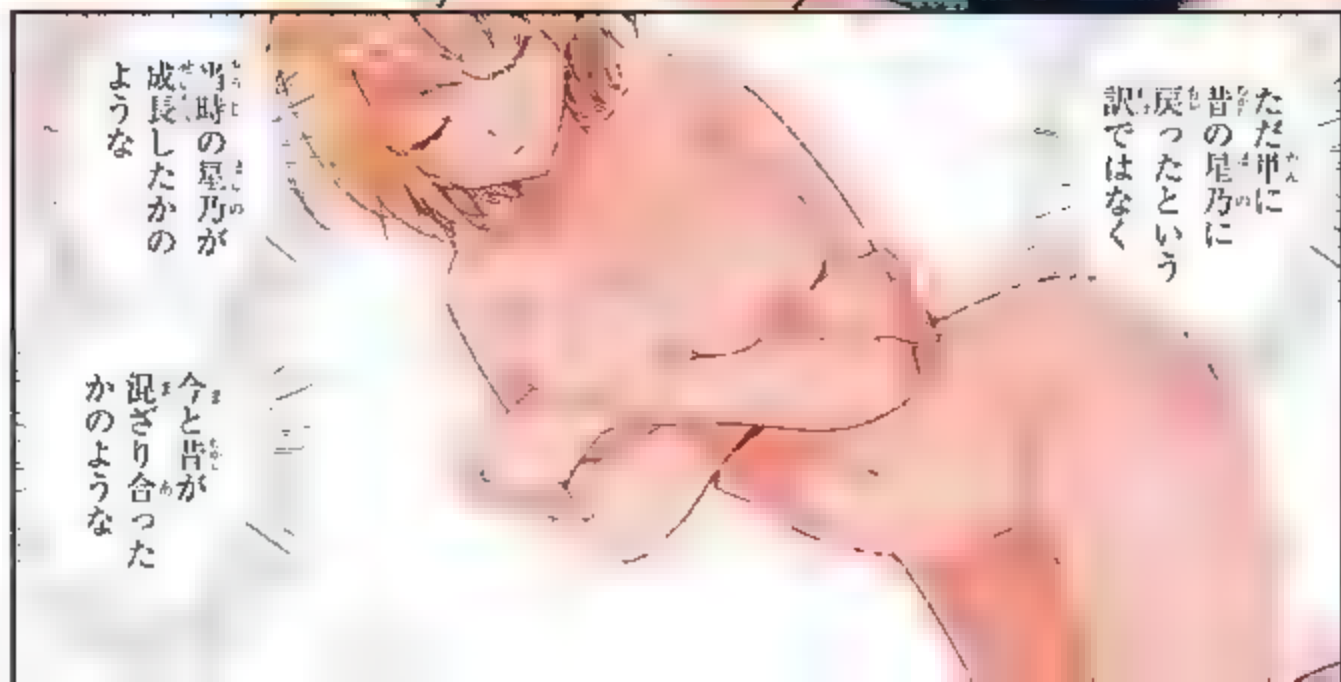
その代わり
今日の日課は
サービスして
貰うわよ

ああ

そう…実は
キセイ蟲との
終戦の条約と
いうのは

俺たちエグゼロスが
定期的にHネルギーを
H×EROSに溜め

それを提供する
代わりにキセイ蟲の
技術を提供して貰う
というものだった

けど二人っきりの時でもHネルギーを溜めるためにこれを着けてなきゃいけないなんて
ちょっと監視されてるみたいでうんざりだよな
確かにそうよね…
それに義務ってなると少し興醒めしちゃうし…
それじゃあさ…
スッ
こないだ提供したばかりだし今日くらい…
誰にも強制されずにHネルギーを感じても良いよね？

んっ
あのキセイ姫との戦いの日から星乃の性格は少し変わったと思う
はらっ
ただ単に昔の星乃に戻ったという訳ではなく
当時の星乃が成長したかのような
今と昔が混ざり合ったかのような

ただ一つ言えることは

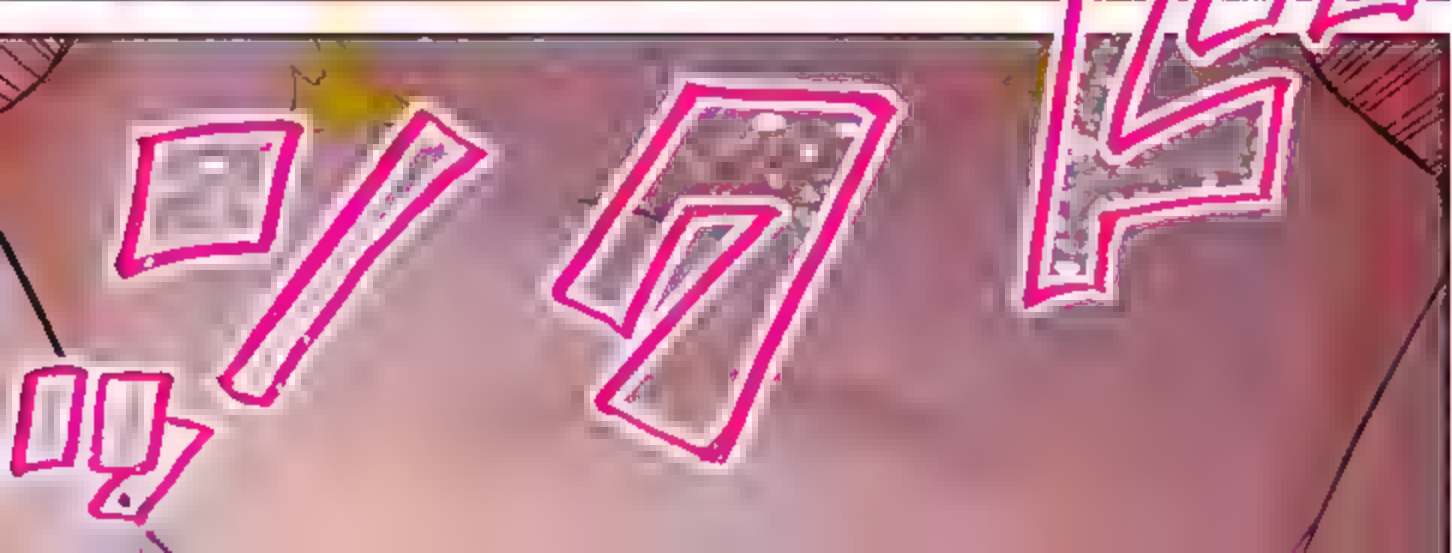
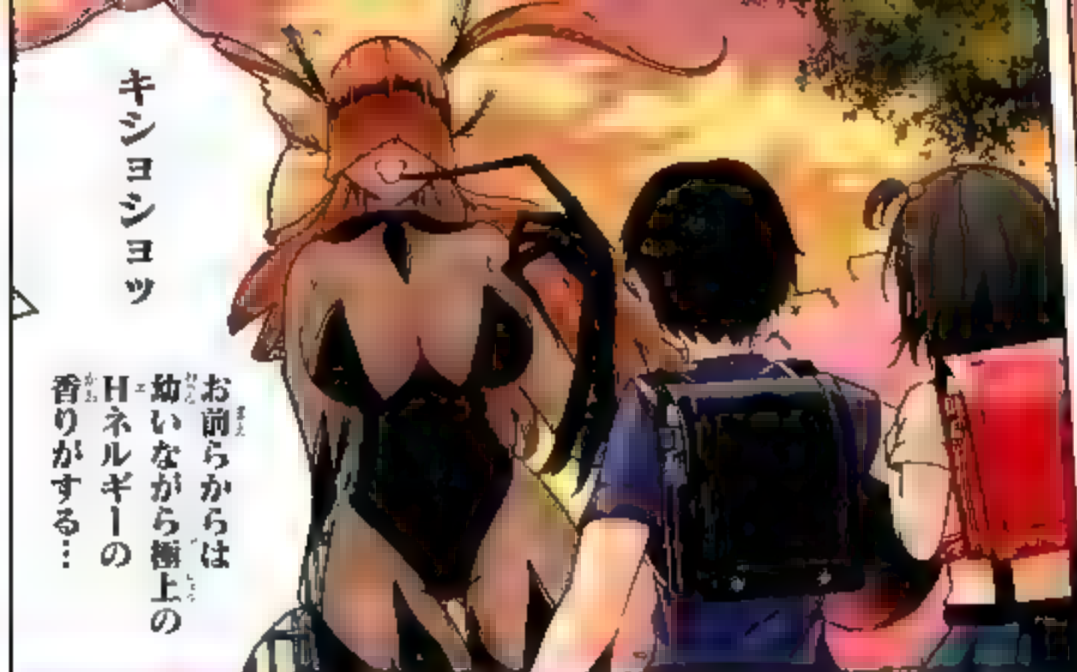
ませていた頃の星乃も

それを隠そうとしていた星乃も

そしてそれを受け入れた星乃も

その全てが愛おしいということだ

好きだ 雲母…

私もだよ
烈人

はぁ
はぁ
もしかしたら今まで一番Hネルギー感じたかも…
そんなこと聞いたらキセイ蟲が悔しがるだろうな…
まぁたまにはヒーローにもプライベートが必要だろ
それもそうね…

野良キセイ蟲の反応だ…！

！

急いで行かないとっ

結局 昔と全然変わらないみたいね

キショショッ
お前らからは幼いながら極上のHネルギーの香りがする…

そういう若いHネルギーが私は一番好物なのよっ
ぱっ

誰だっ!?

エグゼロスだ

Extra Gallery
番外ギャラリー

Extra Gallery

番外ギャラリー

Extra Gallery

番外ギャラリー

HXEROS

あとがき

まずはこの度は4年間のご愛読ありがとうございました。
ここまで続けて来れたのも、ひとえに読者様達のお陰だと思います。
まさか自分でもこんなに続けられて、しかもアニメ化までされるなんて思ってもみませんでした。
実を言うと、このエグゼロスという漫画は本来、連載会議用に描いた漫画ではなく、
連載会議の待ち時間に趣味で描いた物が巡り巡って連載にこぎ着けたという経緯がありました。
そんな思いがけず連載が始まった漫画なので、もしかしたら数年後に
フラッと個人的に続きを描くこともあるかもしれませんから、
その際は是非また読んで頂けたらと思います。
ともあれ、こうして最後まで自由に描かせて貰ったことには感謝しかありません。
その恩返しのためにも、
次回作はエグゼロスよりも売れる漫画を描くつもりでやっていきますので、
今後も応援の方よろしくお願いします。

きただりょうま

ATOGAKI

ド級編隊エグゼロス セミカラー版

12巻

きただりょうま

初版発行　　　　2021年
デジタル版発行　2021年

発行所　集英社
http://www.shueisha.co.jp

この作品は、著者カラー原画に加え、著者の原画をもとに集英社で一部デジタル彩色を行った特別編集版です。

EXTRA PAGES

背表紙・カバー折り返し

※表記はコミックス発売当時のものになります。

EXTRA PAGES

本体・裏表紙

※表記はコミックス発売当時のものになります。

EXTRA PAGES

本体・表紙

※表記はコミックス発売当時のものになります。